

第Ⅴ部

真実の探求者たちへ：番 外編

第 13 章

縄文人と白人

13.1 縄文人と白人

縄文人は日本人の基本人種だ。縄文人とは何だろうか？ 縄文人はどこで始まったのか？ 白人は西洋人の基本人種だ。白人とは何だろうか？ 白人はどこで始まったのか？ 黒人はアフリカ人の基本人種だ。黒人とは何だろうか？ 黒人はどこで始まったのか？ 黄色人はアジア人の基本人種だ。黄色人とは何だろうか？ 黄色人はどこで始まったのか？ こういう疑問は誰もが思うことだ。

生物の進化論はチャールズ・ロバート・ダーウィン^{*1}によって生み出された。彼は大英帝国の全盛の時代に、七つの海を支配した英海軍の船に乗り、海洋の旅に出た。その時の経験や観察から、ダーウィンの進化論を生み出した。それが「種の起源」であった^{*2}。

^{*1} Charles Robert Darwin, 1809 年 2 月 12 日 - 1882 年 4 月 19 日;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/チャールズ・ダーウィン>.

^{*2} チャールズ・ダーウィン「種の起源」(光文社, 2009年);

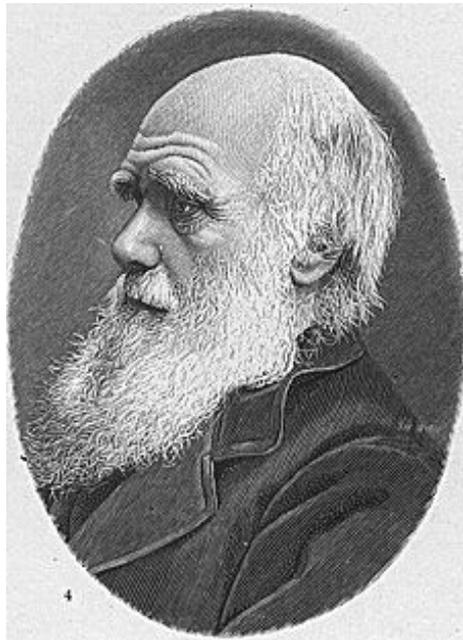


図 13.1 チャールズ・ダーウィン 1809年2月12日 - 1882年4月19日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/チャールズ・ダーウィン>

一方、ドイツはグレゴール・ヨハン・メンデル^{*3}を生んだ国だ。メンデルは、えんどう豆の研究から、遺伝の法則を発見し、遺伝学の基礎を築いた。

同じイギリス人のルイス・シーモア・バゼット・リーキー^{*4}と息子のリチャード・リーキー博士の一家^{*5}は人類の起源を研究するためにアフリカへ行った。そこで、こうしたダーウィンの進化論やメ

<https://ja.wikipedia.org/wiki/種の起源>.

^{*3} Gregor Johann Mendel, 1822年7月20日 - 1884年1月6日;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/グレゴール・ヨハン・メンデル>.

^{*4} Louis Seymour Bazett Leakey, 1903年8月7日 - 1972年11月1日;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ルイス・リーキー>.

^{*5} ルイス・シーモア・バゼット・リーキー



図 13.2 グレゴール・ヨハン・メンデル
1822 年 7 月 20 日 - 1884 年 1 月 6 日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/グレゴール・ヨハン・メンデル>



図 13.3 グルイス・シーモア・バゼット・リーキー
博士 1903 年 8 月 7 日 - 1972 年 11 月 1 日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ルイス・リーキー>

ンデルの遺伝学を基に研究したのだ。そこで彼らはいくつかの人類の祖となる類人猿の化石を掘り出した。大半はちょっとした頭蓋骨や歯の断片や骨格のようなものだった。そして、当時は遺伝子解析の技術はなかった。

彼らは、そういう化石データを基に「人類アフリカ起源説」を唱えたのだ。それが次のようなシナリオだった。

人類の始祖とは大別される。

- 1 猿人 (約600万年前～130万年前)
- 2 原人 (約150万年前～20万年前)
- 3 旧人類 (約20万年前～約2万年前)
- 4 新人類 (約4万年前～現代)

そして、それが考古学における標準理論となった。それが人類史の教科書になったのだ。しかしながら、既存の「人類アフリカ起源説」は何も答えない。こういうことを真面目に研究する人こそ、真実の追求者と言える。

これに真っ向から歯向かったのが、我々日本人の考古学的事実だったのだ。いま我々の日本人の手元には次のような事実があるのだ*6。

日本列島では、

- 1 1万年前には、石器が使われ、
- 3万年前には、加工した石器（磨製石器）が使われ、

*6 小名木善行著「とてつもなく古い国・日本」；<https://nezu3344.com/blog-entry-3297.html>.

1万6500年前には、世界最古の土器がつくられ、
1万3000年前には、人の形をした土偶がつくられ、
1万2500年前には、漆が栽培され、使われていた。日本の歴史は、とても長くて古いのです。

つまり、日本人の存在自体が、ありえない考古学的遺物、オーパーツだったのだ。

こうして、我々日本人だけが、世界の中で、リーキーの人類アフリカ起源説の間違いに気づいているというわけだ。この日本人の歴史を知らない西洋人や無知な諸外国人は、いまだに数世代前のリーキー説で論文を書くわけだ。

本章はこれについての私個人の考え方を語りたいと思う。これはあくまで私の個人的考えにすぎない。

我々は「群盲と像」のたとえのように、1人1人は狭い領域の知識しか得ることが出来ない。だから、我々は、さまざまの文献、さまざまの証拠を集める必要がある。そういうものは、真実の断片にすぎない。だから、我々はそういう事実をつなぎ合わせて、1つのストーリーを構築しなければならないのだ。

まともにすべて考察するとなると、何冊かの本になるようなテーマだ。だから、ここではごく一部の主要な部分しか取り上げない。それぞれのテーマもそのエッセンスしかとりあげない。それは、我々日本人の祖と言われる「縄文人」のことだ。

一方、日本人以外の外国人といえば、やはり西洋文明を作り出した白人だろう。白人種を語らずして地球人を語ることは出来ない。したがって、本章の主要な話題は「縄文人と白人」ということになる。

13.2 縄文人 v s 弥生人説

よく知られているように、戦後我々日本人が学校教育で教えられた日本人の歴史がある。それによれば、日本人の祖先は縄文人から始まったと考えられた。最初に日本全国に狩猟採集の原始人のような縄文人が竪穴式住居に住んでいた。

その後、そこへ弥生時代に朝鮮半島から渡来人がやってきた。そこで、その渡来人のことを弥生人と命名した。彼らは文明人だった。日本へ農耕や高床式住居を持ち込んだ。

そして、弥生人と縄文人の権力闘争が起こる。こうして、縄文人は南北に駆逐された。その子孫が北方のアイヌ民族と南方の沖縄民族になった。弥生人は日本の本州を制し、大和民族になった。

これが従来の説である。

13.3 縄文人とは何か？

縄文人とは、いったい何ものなのだろうか？

実はこれはあまりよく分かっているとは言えないのだ。少なくとも従来の説が間違いだったことが明らかとなった。

それは、分子生物学の進歩により遺伝子解析の技術が格段に進歩したからだ。この決め手になったものこそ、この2年で一般化したPCR^{*7}という科学的方法である。これはキャリー・バンクス・マリ

^{*7} Polymerase Chain Reaction, ポリメラーゼ連鎖反応;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ポリメラーゼ連鎖反応>.

ス博士*⁸が発明し、1993年にノーベル生理医学賞を受賞したものだ。

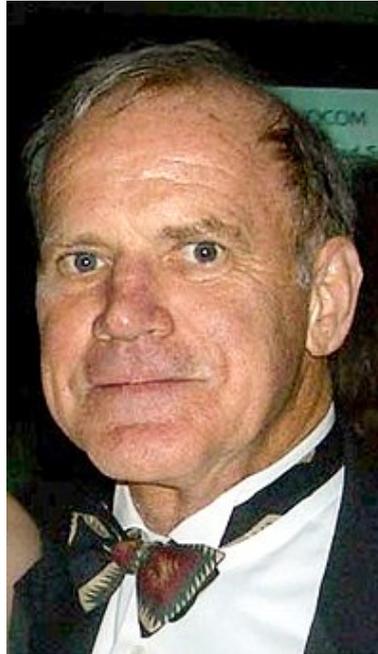


図 13.4 キャリー・バンクス・マリクス博士
1944年12月28日 - 2019年8月7日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/キャリー・マリクス>

そこで分かってきたことは、だいたい次のようなことだ。

- ・縄文人はアイヌ人の祖先ではない。
- ・縄文人と弥生人は別種というわけではない。
- ・弥生人は朝鮮半島から来たわけではない。
- ・縄文人は日本人だけのものではない。
- ・縄文人は世界に広く分布していた。
- ・一般の日本人のほとんどすべてが縄文人の遺伝子をいくらかずつ

*⁸ Kary Banks Mullis, 1944年12月28日 - 2019年8月7日;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/キャリー・マリクス>.

共有している。

・一般の中国人と朝鮮人のほとんどすべてが縄文人の遺伝子を持っていない。

こうした事実はいままでの考古学の遺跡の解析だけからは生まれなかったものである。

縄文人は、いまの人類が現れるはるかに昔、少なくとも10万年以上前から、地球全体に広く分布して住んでいた。その後、白人種が北ユーラシアに登場してから、縄文人は白人種に徐々に住処を奪われ支配された。その場に残るものは混血し、白人ハーフの新しい種族に変わった。その場を逃げたものは、東へ逃げ延びた。しかし、徐々に混血が進んだ。

一方、我が国はもともと大陸と陸続きだったが、2万年前から1万年前の間に分離した。その結果、白人種による支配を受けることがなかった。だから、縄文人の遺伝子をもっとも強く残す人種となった。

13.3.1 縄文の命名は間違い

そもそもなぜ縄文と名付けられたのだろうか？

それは、アメリカの動物学者エドワード・シルヴェスター・モース博士が、東京大学に雇われて来日したからだ。およそアジアの歴史を何一つ知らない当時の米人学者が、単にダーウィンの進化論に取り憑かれて、日本国内の考古学に興味を持った。

当時、日本へ来る学者は、イギリスであろうが、フランスであろうが、ドイツであろうが、アメリカであろうが、その国ではそこそこの実力はあるがメジャーではない傍流の学者だった。さもなく

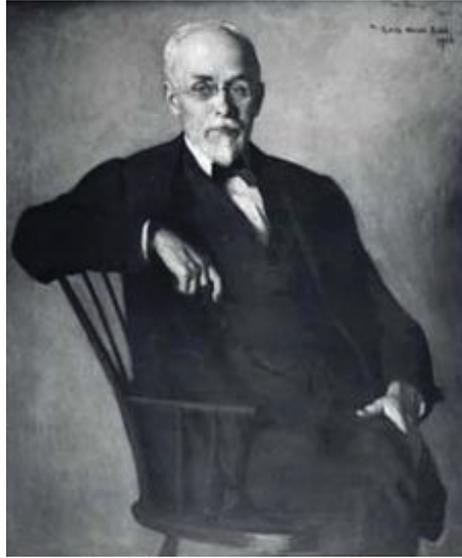


図 13.5 エドワード・シルヴェスター・モース
博士 1838年6月18日 - 1925年12月20日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/エドワード・S・モース>

ば、本国が世界最先端なのに、辺境の日本へ来るわけがなかった*9。

モースはそんな学者の1人にすぎない。とにかく文字通りの島送りになったわけ。だから、モースはとにかく業績を上げなければ本国でポストが得られなかった。そのプレッシャーは相当のものがあつたはずだ。事実、彼は大卒の学位がないにもかかわらず、最終的に名門ハーバード大学の正教授にまでなっている。

そういう背景の中、彼はとにかく日本全国を闊歩した。そして、標本採集に明け暮れたわけだ。そんな中、彼にとっては幸運にも彼は貝塚を発掘してしまう。これが逆に我々日本人にとっては大変な不幸になるのだ。

そして、その貝塚を大森貝塚と名付け、中にあつた貝殻や土器を

*9 井口和基著「何が科学をつぶすのか？」(太陽書房, 2002年)。

見つけるのだ。そして、その土器には表面にワラの模様がかった。

我々日本人ならだれもが、すぐに稲の藁^{わら}だと分かるような模様だ。それが、アメリカ人のモースには意味がわからない。そこで、その模様から「縄^{なわ}のような模様の土器を持つ文化」という意味を付けたのだ。それが「縄文^{じょうもん}」の由来だった。

日本人なら、その時代の古代人が稲作を行っただろうと即推測できたはずだ。しかし、当時のモースはとにかく有名になりたかった。それで、彼は日本の古代に「縄文人」がいたということにするわけだ。それが、明治、大正、昭和、平成、令和と今に至るまで生き残った。これが本当のところだ。

13.3.2 明治政府の誤解が不幸の基だった

しかしながら、いかにこの名前が不幸だったか？

誤解を呼ぶことになったか？

なぜなら、その命名が縄文文明とその後に来た弥生文明というありふれた二元論的解釈に墮することになったからだ。その結果、明治政府は朝鮮を日本と同類と考えるようになってしまった。さらに、明治政府は朝鮮人を弥生人の末裔だと誤解した。日本人が弥生人の子孫で、弥生人が朝鮮からの渡来人であれば、日本人と朝鮮人は同祖ということになるのだ。日朝同祖論を作ってしまったのだ。

そこから、明治政府がやたらと朝鮮半島に入れ込んでいくことになるのだ。天皇家の梨の宮(梨本宮)方子^{まさこ}様を朝鮮王朝王子の李垠^{りぎん}のお妃に送るのだ。明治政府の伊藤博文はその王子の庇護を努めた。そして、幾多の戦争の犠牲になっていったのだ。すべて朝鮮半島からの渡来人と縄文人の混血説がその原因だったというわけだ。

13.3.3 現代韓国人のルーツ遺伝子検査

ところが、遺伝子研究が進んだ現代、日本人は朝鮮人とは別人種だと分かっている。系統が異なるのだ。彼らは後から来た大陸内の移動民族だったのだ。ユーラシア大陸の北方アジア人と南方アジア人の混血なのだ。

朝鮮半島は、もともと5000年前まで人がいなかった。これは北朝鮮の白頭山の大噴火のせいだろうと考えられている。その後、北九州や沖縄から倭人が朝鮮半島の中央部から南部、いまの韓国の領域に住むようになる。

そこで、混血アジア人の中国系(古代の周)の中国人が襲撃したのだ。それで混血して生み出されたものが朝鮮人なのだ。

これは、現代の普通の韓国人が遺伝子検査で証明されたといえるだろう。ごく普通の韓国人が遺伝子検査をすれば、ほぼ100%の韓国人に必ず、日本人の遺伝子が30~40%という結果が出るのだ。他には、同程度の30%でモンゴル人が出る。韓国人20%と中国人10~20%。ほとんど4種類で尽きるようだ*¹⁰。韓国人というものは、もともと日本人母と中国人父だから、半々とすれば、ほぼ半分が日本人、もう半分が中国人ということになるわけだ。

つまり、韓国人というのは、日本人と中国人のハーフ種族ということになるのだ。

*¹⁰ 韓国人記者自分のルーツを解析したら?:なんと日本と支那とモンゴルのハイブリッドだったことが判明! ? ; <https://quasimoto2.exblog.jp/238416482/>.

13.3.4 檀君神話

これは、韓国の建国の伝説である「檀君神話」*¹¹のストーリーと見事に一致するのだ*¹²。

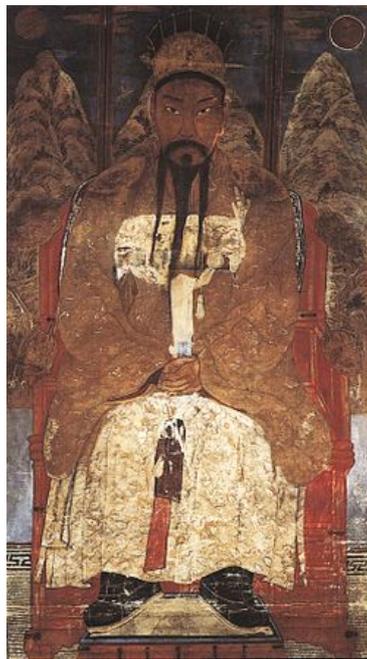


図 13.6 檀君

<https://ja.wikipedia.org/wiki/檀君>

太古の昔、^{ファンイン}桓 因という天帝の庶子に^{ファンウン}桓 がいた。桓雄が常に天下の人間世界に深い関心をもっていたので、天符印三筒を与えて天降りさせ、人間世界を治めさせた。部下3000人を率いた桓雄は、^{テベクサン}太伯山上の^{シンダンス}神壇樹下に下りて^{シンシ}神市

*¹¹ <https://ja.wikipedia.org/wiki/檀君>.

*¹² 長浜浩明「韓国人はどこから来たか？」：「檀君神話」は「檀君実話」だった！ ; <https://quasimoto.exblog.jp/22622245/>.

とした。彼は風伯、雨師、雲師をしたがえて穀・命・病・刑・善・悪をつかさどり、人間の360余事を治めさせた。このとき一匹の熊と一匹の虎が洞窟で同居していて、人間に化生することを念願していた。桓雄は一把のヨモギと20個のニンニクを与えて、100日間日光を見ないように告げた。熊は日光を避けること37日目に熊女ウンニョになったが、虎は物忌みができず人間になれなかった。桓雄は人間に化身した熊女と結ばれ、檀君タングンワンゴム王儉を産んだ。檀君は中国の堯帝が即位して50年目の庚寅の年に、平壤を都として朝鮮と呼んだ。のちに都を白岳山の阿斯達アサダルに移して、1500年間も国を治めた。周の武王が即位した己卯年に、箕子キジャを朝鮮に封ずると、檀君は阿斯達からかくれて山神となった。寿命が1908歳であった。(姜在彦『朝鮮儒教の二千年』01朝日選書 p.28)

この神話の桓因ファンインという天帝を中国の王と考える。当時は、おそらく周の王だ。つまり、周人だ。その庶子の桓ファンウンは、周の王族の子孫ということになる。そのチャイナの周人の桓ファンウンが朝鮮半島北部に達する。すると、捉えた寅のメスと熊のメスと交尾する。

寅とはチャイナを意味する。熊とは当時の倭人は九州の北部や北西部や南部、つまり、熊襲くまそだ。当時は、襲国そのくにがあった。熊のメスとは、熊襲の女を意味するのだ。こう考えれば、すべて辻褃が合うのだ。

韓国人は、周人の王子が、当時朝鮮半島に住んでいた倭人の熊襲を侵略した。その時、残忍な周人は熊襲の男は皆殺し、女子供を捉えた。いっしょに連れてきたチャイナの女は、こんな辺鄙なところで生きたくないと思える。結局、周の王子桓ファンウンは、熊襲の女をは

らませる。

こうして、子孫が生まれた。これが韓国人の祖だ。こういう歴史を語る。そして、現代の分子生物学の遺伝子検査がそれを証明したのだ。

また、檀君神話によれば、それが書かれたのは13世紀後半、つまり1300年前だ。その西暦は721年以前となる。普通神話の神の寿命は、書いた人の時代ではよく分からない空白期間があったことを意味する。したがってBC 2333年前に即位ということは、 $2333 + 2021 = 4354$ 年前に建国されたことになる。つまり、韓国の4000年の歴史になる。しかし、その時0歳で即位し、それから寿命の1908年生きたとする。これがその期間に何が起こったか分からない歴史的空白期間だ。それを架空の神話の王の統治として古さを水増ししたわけだ。だとすれば、実際にはそれを差し引くと、 $4354 - 1908 = 2445$ 年前になる。つまり、2445年前とは、BC 424年だということになるのだ。ちょうど中国が周帝国^{*13}の統治 (BC 1046-BC 256年) の時代にあたる。これが、檀君神話の真実なのだ。したがって、韓国4000千年の歴史、韓国3000年の歴史というのは真っ赤なウソになるわけだ。

真実の歴史とは、当時のヤンキー^{*14}学者が思うほど単純なものではない^{*15}。

*13 <https://ja.wikipedia.org/wiki/周>

*14 ここでは普通のアメリカ東部人の下層という意味。日本のヤンキーの意味ではない。

*15 現代科学の目で見えた「目からうろこの日本人類史」：すべては真逆だった！？
; <https://quasimoto2.exblog.jp/239503796/>.

13.3.5 アイヌと縄文の区別

まったく同じようなことはアイヌ人と日本人との間でも起こってきた。これまで、我が国では一般に次のように考えてきた。

日本列島には1万年前まで縄文人が最初に住んでいた。同様にアイヌ人が日本の中央部から北部に住んでいた。だから、縄文人が後のアイヌ人になった。その後に朝鮮半島から朝鮮人の渡来人がやってきた。

こう信じてきたのだ。これもまたモースの縄文人が招いた誤解の1つだった。

アイヌ人は顔が濃い。そうなら、その祖であるはずの縄文人はアイヌ人のような濃い顔の持ち主だったと考えた。だから、縄文人は西洋人のように堀が深くひげの濃い顔で、弥生人は堀が浅くひげの薄い顔だと信じてきたわけだ。

ところが、これまた最近の分子生物学のDNA解析を行うとまったく違うことが分かってきたのだ^{*16} ^{*17}。アイヌ人は、日本人とは別系統だったのだ。

日本人は、これまで縄文人型の顔、弥生人型の顔と区別された。しかし、日本人の遺伝子を調べると、日本人は顔の形にかかわらず、ほとんどの人に縄文人の遺伝子があることがわかったのだ。それが

^{*16} 特番『アイヌ人など存在しない、日本民族としての政治・教育～アイヌ先住民族説、弥生人渡来説のウソ』ゲスト：作家 宇山卓栄氏；
https://www.youtube.com/watch?v=__cecesbV_c.

^{*17} 【偽アイヌ問題】アイヌは先住民族ではない。長い縄文人の歴史の中でトリカブトの毒矢を武器に侵略してきた異民族だったのだ。つまり侵略者だった！？；
<https://quasimoto3.exblog.jp/240583808/>.

アイヌにはなかった。アイヌは縄文人ではなかったのだ。

アイヌは北方アジア人だったのだ。それが、おそらくまで縄文人がいた数千年ほど前に樺太から南下し、北海道を支配した。それから徐々に南下し東北、関東、関西を支配して住んでいたのだ。その理由も判明した。彼らは弓矢にトリカブトの毒を塗る民族だったのだ。縄文人は弓矢に毒を塗らない。同じく日本人は弓矢に毒を塗らない。これが日本武士の伝統になった。トリカブトの毒矢を使うのは北方アジア人の伝統なのだ。こうして、実際の文化伝統と遺伝子解析結果が見事に一致する。

だから、いまでは、「アイヌは日本人の祖ではありません」というのが事実なのだ。ところが、それが先住民族というレッテルを張り、政治的にプロパガンダを行う結果になったのだ。

アイヌは侵略民族である。日本人の祖である縄文人を蹴散らして住み着いた方なのだ。先にいた文字通りの先住民族は縄文人だったのだ。だから、日本人が先にいたのであって、アイヌが後から来たのである。おそらく、後からきたアイヌは、そこにいた縄文人の文化を吸収したはずだ。混血もしただろう。だから、アイヌ人のDNAを調べれば、すべては分かるのだ。そして実際に行うと、まさにこの通りだったというわけだ。

無知蒙昧の米白人モースの誤解がさらにアイヌの誤解まで生んでしまったのだ。その結果、せっかくの遺伝子解析で出た結果の解釈で日本の学者がまた間違う。日本の学者が縄文弥生アイヌ伝説というこれまでの「標準理論」の偏見に侵され続けた結果というわけだ。

いったいいつまでの間違った神話が続くのだろうか？

ここにも電気工学におけるニコラ・テスラの悲劇や物理学におけるアインシュタイン神話が招いた悲劇と同じような悲劇が起こった

というわけだ。

13.3.6 日本人と韓国人の遺伝子の違い

縄文人説、そこから現れた縄文弥生伝説。そのせいで、我が国の考古学や日本人史が大きな間違いに満ちたものになってしまった。それが、日本人と韓国人は兄弟説のような誤解だ。これは日本の朝鮮統治時代にこの弥生人渡来人説が韓国へ渡ったせいで、韓国人もこれを信じる結果になったからなのだ。だから、問題はさらにこじれた。

この伝説に一石を投じる実験研究が行われたのを知っているだろうか？

2011年、我が国がまだ東日本大津波地震に襲われて間もない頃、韓国では国家プロジェクトとして韓国人遺伝子の解析が行われていたのだ^{*18}。これは当時ニュースにもなった^{*19 *20}。

韓国人18人のDNA、RNAを分析した結果、220万個以

^{*18} Ju, Young Seok, et al. "Extensive genomic and transcriptional diversity identified through massively parallel DNA and RNA sequencing of eighteen Korean individuals." *Nature genetics* **43**(8) (2011): pp. 745-752; https://www.researchgate.net/profile/Dongwan-Hong/publication/51463567_Extensive_genomic_and_transcriptional_diversity_identified_through_massively_parallel_DNA_and_RNA_sequencing_of_eighteen_Korean_individuals.pdf.

^{*19} 韓国人固有のDNA 220万個を発見」ソウル大学研究所 [07/04]; http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=0704&f=national_0704_155.shtml.

^{*20} <https://quasimoto2.exblog.jp/22760944/>.

上の新しいゲノム変異が見つかったと、ソウル大学医科大学遺伝体医学研究所とマクローゼン生命科学研究所が3日、世界的な学術誌ネイチャー・ジェネティクス（電子版）で発表した。複数の韓国メディアが報じた。

研究グループは2008年から「アジア人の遺伝体多様性プロジェクト」を実施しており、今回の研究は3番目の研究として、遺伝疾患のない韓国人18人（男性11人、女性7人）のゲノム（全遺伝情報）を分析した。

報道によると、既存の研究ではDNA配列の分析を通じ、特定の病気の発見や、人間の特性や疾患などを特定してきたが、今回の研究ではDNA配列とRNA配列を同時に分析。DNAに存在しない変異がRNAに存在していたり、その逆のケースがあることを明らかにした。

韓国人18人からは、950万個以上の変異（遺伝子を構成する塩基配列の違い）が確認され、うち220万個は今回始めて発見された。さらにこのうちの約120万個は、韓国人の10%以上が有していることが分かった。

ソウル大学医科大学遺伝体医学研究所のソ・ジョンソン（Jeong-Sun Seo）教授は、「民族はそれぞれ生きてきた環境に適応するため、固有の遺伝子変異を持っている」とし、「今回の論文はヨーロッパ人とは違う韓民族の遺伝体変異を体系的に整理し、ヨーロッパ人が中心だったこれまでの遺伝子研究の限界を指摘した点で意味がある」と話した。

韓国メディアは、韓国人のゲノム分析を通じ、人種間の多様性が予想よりも大きいことが分かったとし、韓国人をはじめとするアジア人のゲノム情報を集め、アジア人に的を絞っ

た医学研究が必要との見方を示した。(編集担当：新川悠)

ごく普通の韓国人には、突然変異の遺伝子が950万個あるのだ。その研究はこれまでの研究結果に220万個を新たに加えた。この新たに加えられた220万個の突然変異遺伝子のうち、120万個は韓国人の10人に1人が必ず持っているというのだ。これがその研究の結果なのだ。日本人はこういう突然変異はないと考えられる。

ところで、ミトコンドリアの遺伝子はリングを形成している。

このミトコンドリア遺伝子が1個変異するのに何年かかるか知っているだろうか？

簡単に言えば、1年の間に遺伝子が1個突然変異する確率は、普通の細胞は 10^{-9} 、ミトコンドリアのゲノムで 10^{-7} なのだ。確実に1個が変異するためには、普通の細胞は1000万年かかる。ミトコンドリアのゲノムで10万年かかるという意味なのだ*²¹。

ところが、日本人と韓国人の遺伝子の差は950万個もあるのだ。少なく見積もり、仮に1万(=10⁴)個の違いとしよう。1個に10万年～1000万年かかる。つまり、1万個なら、その1万倍かかる。つまり、10億(10⁹)年～1000億(10¹¹)年かかる計

*²¹ 一般的には、ヒトとチンパンジーのゲノム(遺伝情報全体)を比べると、1.2%程度の相違しかないと考えられている。これは、100個のDNA塩基配列があるとすれば、その中の1個程度の差である。1年当たりに突然変異がどれほど起こるかという確率は、細胞の核内のゲノムで 10^{-9} 、ミトコンドリアのゲノムで 10^{-7} である。つまり、変異の速いミトコンドリア遺伝子ですら、100%すっかり変わるためには1000万年かかる。1%程度変わるには10万年かかる。核酸の場合には、その10から100倍時間がかかる。およそ100万年のオーダーがかかって0.1%から1%しか変異しないことになる。

算になるのだ。これはありえない数字だ。ということは、日本人と韓国人は別の系統の人類と考えるべきなのだ。突然変異で日本人が韓国人になることはできない。4割ほどに日本人の熊襲の女性から受け継いだ遺伝子を持つが、残りの中にこれほどたくさんの違いが含まれるということなのだ*22。

13.4 オーパーツを研究する必要性

さて、こういった研究が分子生物学の PCR を用いた人類の遺伝子解析の研究結果から導かれる結果である。

しかしながら、これはあくまでベースとしての考え方がダーウィンの進化論やメンデルの遺伝の法則や考古学の発掘調査の結果を前提にしたものだ。その意味では、ままだ標準理論の範疇から出ていない。つまり、これ以外のものはすべてオーパーツ*23として除外されてしまうのだ。

これでは、本当の歴史に至るには何万年もかかりそうだ。

そこで、もっと別の道はないのか？

そこで、いったんこういったすべてを忘れようじゃないか？

ちゃらにするのだ。そんなの関係ない、である。そして、一見マッドサイエンティストと見られかねない研究者たちの地道な調査研究に光を当ててみるのだ。あのニコラ・テスラですら、つい最近

*22 「韓国人の起源」 v s 「日本人の起源」：やはり日本人の方が遥かに古かった！？ ; <https://quasimoto2.exblog.jp/23647468/>.

*23 それらが発見された場所や時代とはまったくそぐわないと考えられる物品を指す。英語の「out-of-place artifacts」を略して「OOPARTS」とした語で、つまり「場違いな工芸品」という意味である.; <https://ja.wikipedia.org/wiki/オーパーツ>.

までマッド・サイエンティスト扱いだったのだ。歴史研究や人類史研究でもそういう事があるかもしれないのだ。

そこで、あえてオカルトとして取り扱われてきた以下のテーマを見ていこう。

- ・世界の巨人伝説
 - ・日本の古史古伝、竹内文書
 - ・世界の超古代史
 - ・古代宇宙飛行士説
- などだ。

13.5 アメリカの巨人の骨

突然だが、アメリカには無数の巨人がいたことを知っているだろうか？

アメリカ大陸には無数の箇所にも未知の遺跡がある。その中から巨人の骨が見つかるのだ。なんと、その数は1万ヶ所にも及ぶのだ*²⁴*²⁵。これらの塚は、ネイティブインディアンのもものではなかった。ネイティブインディアンは太古からそういうものがあることを知っていたのだ。彼らはそれらを祀って保存していたのだ。

当時は、西部開拓時代、ゴールドラッシュ時代のアメリカだ。当時のアメリカの白人は金に目がくらんでいた。だから彼らは真っ先

*²⁴ アメリカの「記録された巨人たち」：その数なんと万を超えた！？；
<https://quasimoto2.exblog.jp/239098418/>.

*²⁵ Jim Vieira, Hugh Newman, Ross Hamilton, *Giants on Record: America's Hidden History, Secrets in the Mounds and the Smithsonian Files* (English Edition) (Avalon Rising Publications, 2015).

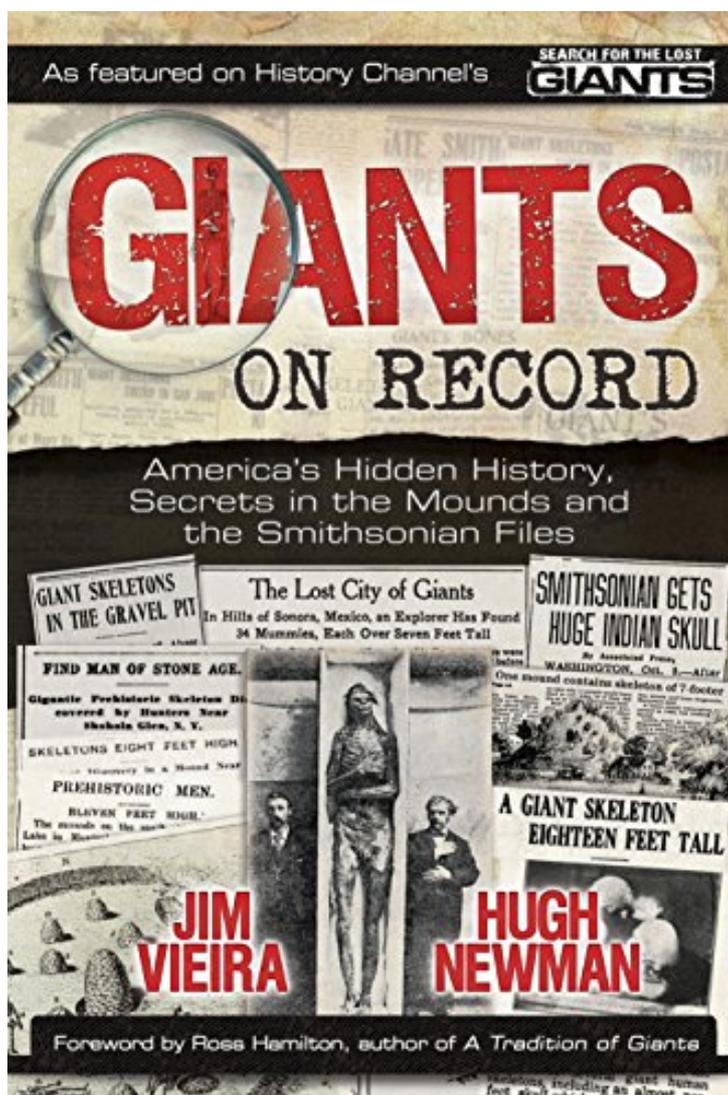


図 13.7 記録された巨人たち
アメリカの「記録された巨人たち」：その数なんと万を超えた！？ <https://quasimoto2.exblog.jp/239098418/>

にその塚に金が隠していると思って掘り起こす。しかし、中にあったのは巨人の骨だけだった。掘ったアメリカ人は、あてが外れた。そこで今度は、新聞記事にすればびっくりして人々が驚くから、新聞社に売れるはずだ。そうやって彼らは少しでも金にしようと新聞に情報提供する。

当時のアメリカの新聞社は無知で興味本位だった。これといった学問的偏見がない。だから、そのまま大発見だと新聞記事にする。その記事に読者が驚く。しかし、その意味がわからない。だから、彼らはすぐに忘れる。

その後、発見者は、しかたないから、それをスミソニアン博物館へ売る。すると、スミソニアン博物館はいつの間にかそれを失ってしまう。しかし、地方新聞の記事はそのまま残る。全米の至るところで、こんなエピソードが繰り返されたのだ。

そして、20世紀になると、科学的にそんなことはありえないということになる。巨人は存在しない。なぜなら、ダーウィンの進化論に背く。メンデルの遺伝の法則に反する。こういったクレームを受ける時代になったからだ。

また、せっかくだれかが、巨人の骨を発見しても、RCA あるいはその後の CIA、さらには ACIO の職員が火消しする。そんな時代が続いて、いつの間にかアメリカの巨人の骨は忘れられたのだ。

しかしながら、この巨人の骨の化石は、非常に古い時代のものだ。中には1万年以上も前のものが見つかるのだ。しかもアメリカ1国だけではない。全世界で見つかった。

それが、インターネットの YouTube 時代になり、そこら中から出てきたわけだ。ときには、巨人の足跡が岩石に見つかることもある。まさにニコラ・テスラの時と同じ展開である。

13.6 日本の岩手の巨人の骨

さて、問題は、巨人の化石が我が国日本にもあるのかどうか？

アメリカや外国だけの話だとみな思っていたのだ。日本には巨人

の骨は存在しない。そう思っていたわけだ。

ところが、面白いことに、我が国の岩手県でも見つかったのだ*²⁶。

なんと驚くべき事象によって、実は2008年に我が国の東北地方で巨人の化石がほぼ100%完璧な状態で発掘されたのだ。というより、発見されたのだ。2008年の東北の震度6の大地震の時だった。岩手・宮城内陸地震*²⁷である。

マスコミのヘリコプターが現地の被災地に飛んできたのだ。彼らは上空からリアルタイムで現場を撮影していた。その時、実に”奇妙なもの”が写ったのだ。しかし、当初はカメラマンも分からなかった。その映像を放映中のテレビ番組の映像に地元の人たちはそれに気づいたらしい。もちろん、我々テレビの前の一般人は知らなかった。

「現実」というものは、それを記述する「概念」や「言葉」がないと認識できない。だから、現地の人にも「何か変なもの」だとは分かったのだが、何が起こっていたのかよく理解できなかつたらしい。

気づいた地元の人にはテレビ局へ知らせた。するとすぐに現場にブルーカバーが掛けられた。そしてそれが現場からなくなったというわけだ。

ところが、その後、私のブログや陰謀暴露論やオカルト版などの世界の不思議を暴露するサイトが出てくる。そういうものの中で、ゼカリア・シッチンの「ニビルのネフィリム」の話が出てくる。あるいは、世界中の巨人化石の写真などがインターネットに現れる

*²⁶ 「2008年6月14日岩手・宮城内陸地震震度6強」発生！：一関の崖で巨人化石が見つかった！？；<https://quasimoto.exblog.jp/23124994/>

*²⁷ <https://ja.wikipedia.org/wiki/岩手・宮城内陸地震>

ようになってくる。東北の人がそれを見たところ、はたと気がついた。「アハ体験」である。「そうだ、そういえば、あの時の地震で写っていたものは、ネフィリムだったのだ」

そういうような感じで、つい最近になって、YouTube に登場してきたようである。その問題の写真が以下のものである。

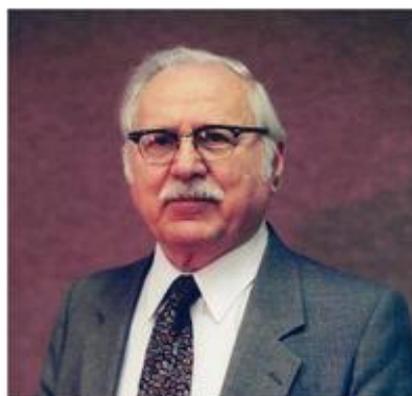


図 13.8 一関の崖で見つかった巨人の化石
2008年6月14日岩手・宮城内陸地震震度6強」発生の時
<https://quasimoto.exblog.jp/23124994/>

13.7 ゼカリア・シッチン博士のネフィリム

13.7.1 ゼカリア・シッチン

イスラエル人のゼカリア・シッチン博士*²⁸の名前を聞いたことがあるだろうか？



Zecharia Sitchin author of
The End of Days
William Morrow/HarperCollins Publishers
Photo Credit: Author's personal collection

図 13.9 ゼカリア・シッチン博士 1922年6月11日 - 2010年10月9日
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ゼカリア・シッチン>
<https://quasimoto.exblog.jp/23124994/>

おそらくこの本に関心を持つ人なら知っているはずだ。

欧米にはキリスト教がある。キリスト教の聖書には神の記述が

*²⁸ <https://ja.wikipedia.org/wiki/ゼカリア・シッチン>; Zecharia Sitchin, 1922年6月11日 - 2010年10月9日.

ある。

神は地球の女に恋をし、子を産ませた。その神と人間とのハーフはみな巨人になった。その神を「天から降りてきた人」ネフィリムと呼んだ。あるいは、アヌンナキと呼んだ。

ところが、1970年代になり、イスラエル人のゼカリア・シッチン博士が登場する。

13.7.2 イラン・イラク戦争で大量のシュメール石版が発見

彼は、30年以上に渡り、シュメール文明を研究したのだ。なぜなら、イラン・イラク戦争^{*29}が起これ、お互いに爆撃しあつた。すると、イラクの砂漠に開けた爆弾の穴から洞窟が見つかったのだ。その中にシュメールの石版が何万も入っていたのだ。すぐにイギリス人がそれらを持っていき、大英博物館に陳列された。

シッチン博士は言語の天才だった。何十ヶ国語も読み書きできたのだ。その能力を使い、シュメールの碑文を自分なりに読み解いていくのだ。だれも知らない時代、だれも見ることがない時代の石版だ。今の常識で理解できるはずがない。

そこで、彼は現代科学が進めば、それに応じて、新しい科学技術のアイデアを使って、それまで分からなかった部分を読み解く。これがゼカリア・シッチン博士の特有のアプローチだった。こういうプロセスを用いて、彼は30年ほどシュメールの石版を読んでいたのだ。分かれば、分かったところを本にしていった。そして最後

^{*29} <https://ja.wikipedia.org/wiki/イラン・イラク戦争>

に一冊の本に統合した*30。

13.7.3 ゼカリア・シッチンの地球誕生史

ゼカリア・シッチンの読み解いた地球人類史とはかなり壮大だった*31。それは単に地球内のことではなかったのだ。太陽系全体、および、その外からの惑星侵入者まで含むものだった。それは、次のようなものだ。

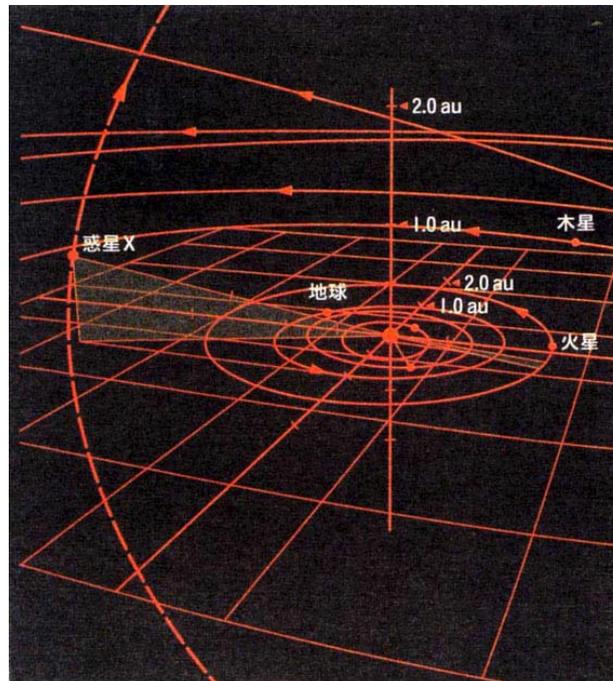
- ・太陽系内に、長い楕円形軌道をした3600年周期の仮説上の天体が存在する。
- ・この惑星は「ニビル」（バビロンの宇宙論では惑星マルドゥクに伴っている惑星として表現）とよばれていた。
- ・昔の太陽系には惑星ティアマトが火星と木星の間に存在していた。
- ・ニビルという遊星が外宇宙から太陽系に侵入した。
- ・その軌道は太陽系と逆方向で、かなり傾いていた。

- ・ニビルは、火星と木星の間に存在していたと考えられる惑星ティアマトと大接近した。*32。
- ・そのとき、巨大惑星ニビルの衛星の1つがティアマトに衝

*30 ゼカリア・シッチン著/竹内慧訳「地球の主」エンキの失われた聖書—惑星ニビルから飛来せし神々の記録」（徳間書店、2008年）。他多数。

*31 ゼカリア・シッチン著/竹内慧訳「地球の主」エンキの失われた聖書—惑星ニビルから飛来せし神々の記録」（徳間書店、2008年）。他多数。

*32 ティアマトはまた、メソポタミア神話の文書のひとつエヌマ・エリシュにおいては女神として描かれている。



太陽系惑星配置図

図 13.10 惑星 X、ニビル

<https://yowusa.com/planetx/>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ゼカリア・シッチン>
2012年問題:「惑星ニビルはやって来るのか？」

<https://quasimoto.exblog.jp/14259336/>

突し、ティアマトは半分に割れた。

・ティアマトの半分は粉々になって飛び散った岩石と海水となり、太陽系の外へ吹き飛ばれ、氷隕石のカイパーベルトになった。

・残りの破片はティアマトの軌道に残り、小惑星帯となった。

- ・もう半分の破片は、ティアマトの最大衛星といっしょに新しい軌道に押し出されて、現在の地球と月となった。
- ・ニビルは太陽系内に捕獲され、長い楕円形軌道をした3,600年周期の天体になった。

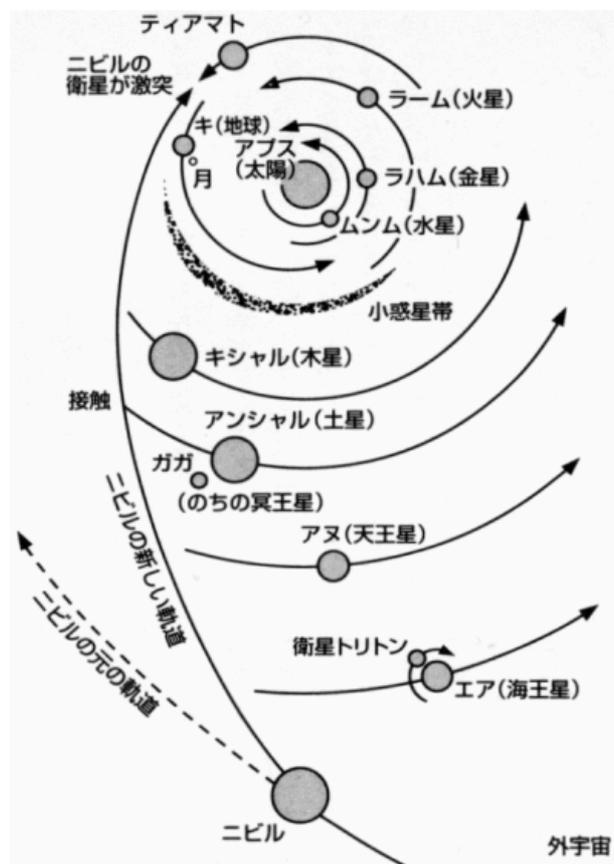


図 13.11 ニビルとティアマトの衝突

<https://yowusa.com/planetx/>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ゼカリヤ・シッチン>

<https://quasimoto.exblog.jp/23421417/>

- ・ニビルには人類と類似した姿を持った技術的に進歩した地球外生命の本拠がある。

- ・ニビルの宇宙人は巨人であり、寿命が長く、シュメール神話ではアヌンナキと呼ばれており、シッチンが創世記に登場するネフィリムになった。
- ・ニビルの神々はニビル内の核戦争のため、大気の問題が起こり、その解決に金が必要になった。
- ・ニビルの王アヌは45万年前に太陽系内の鉱物資源、特に金の探索を息子たちに命じた。
- ・王アヌを失脚させてその地位を奪おうとしたアラルは火星に追放された。
- ・アヌンナキたちは、最初火星に降り立ち調査、しかし火星は金がなかった。
- ・火星で王族のアラルが不慮の死を遂げていた。その巨大な顔の墓地を作り、その顔が地球から見えるようにした。
- ・次にアヌンナキたちは地球の探査のために地球へやってきて、メソポタミヤに最初の基地エリドゥを建設した。
- ・司令官は王族の王子たち兄エンリル、副官は異母兄弟のエンキだった。
- ・その他の「神々」は、ニビルから地球への植民遠征に出された、その近親者とその家来の一般庶民の労働者に相当する神々であった。
- ・アヌンナキは最初は海や川から金を採取したが、後にアフリカで金鉱脈をみつけ採掘を行った。結果は良くなかった。
- ・アヌンナキは、25万年前に金鉱山で働く奴隷となる生物作る計画を立てた。
- ・ニビルのエンキの精子と類人猿のメスの卵子とかけあわせ、エンキの胸腺の遺伝子を入れて、遺伝学的に設計した。

- ・ 出産はニビルの女たちの子宮で代理出産の形で行われた。
- ・ 最初の人類は言葉が話せなかった。ほとんど元の類人猿に近かった。
- ・ 二度目の人類は、褐色の肌で言葉が話せ、有能な奴隷になった。
- ・ エンキは地球人の女に恋をし、それぞれに1子を産ませた。それがさらに色の白い地球人となった。
- ・ 1人の子はアダパ。もう1人の子はティティと呼ばれた。
- ・ アダパとティティに2人の息子カ・インとアバエルが生まれた。
- ・ メソポタミアのシュメール人の人類文明は、これら神々の指導のもとで建設され、人間による王権は、人間とアヌンナキの媒介のため与えられた。
- ・ エンキは地球人ル・マクの妻をはらませ、さらに金髪碧眼のニビルの神々そっくりの地球人が誕生した。
- ・ はじめて地球生まれのニビルの神マルデュックが誕生した。
- ・ マルデュックは初めて地球人の妻を娶るために壮大結婚式を挙げた。
- ・ 地球を廻る観察衛星ジンギルの見張り役イギギのアヌンナキの一部200人はその結婚式に参加した。
- ・ 彼らは反逆者になり、地球へ降り立ち星の街をヒマラヤスギの場所に建設、地球人の妻を娶った。
- ・ アヌンナキと地球人のハーフ種族はみな巨人ネフィリムに育った。
- ・ しかしネフィリムは悪辣非道でどうしようもなくなり、エンリルは地球に天変地異を起こし、地球人を滅ぼした。

- ・この時、エンキは地球人が滅亡するのが忍び難く、再建の可能性のある見込みのある一部の地球人を知恵を貸して救う。
- ・これがノアの箱舟伝説の原型となった。
- ・それを知ったエンリルはエンキと対立を深めた。
- ・ニビルの神々、エンリルとエンキの地球外生命同士の間で起こった戦争に核兵器が使用された。
- ・その「悪しき風」からもたらされる放射性降下物(死の灰)が、前4000年前ごろ、シュメールの都市ウルを滅ぼした。
- ・その年は正確には紀元前2024年である。この事件は「ウルの嘆き」(Lament for Ur)にも描かれている。
- ・この事件を最後に神々は地球上から姿を消した。
- ・聖書の記述はもともとはシュメールの文献から来たものである。

おおよそこういう話なのだ。

13.7.4 ゼカリア・シッチンの地球人類誕生史

シッチン博士の古代シュメールの石碑文の解読によれば、シュメールの神エンキが行った遺伝子操作によって誕生した地球人類には、以下のものがある。

(1) エンキ+類人猿女性の子=アダムウとティ・アマト。

アダムウとティ・アマトの子孫。

(2) エンキ+アダムウとティ・アマトの子孫の1女性の子アダパ

エンキ+アダムウとティ・アマトの子孫の1女性の子ティ

テイ。

アダパ+テイテイの子カ・イン、アバエル（死す）、サテイ。

カ・インの子孫=アジアに広がる。

サテイの子孫=ヨーロッパに広がる。

(3) エンキ+サテイ子孫ル・マクの妻バタナシュの子ジウストラ
(金髪碧眼)。

ジウストラ+エムザラの子=セム、ハム、ヤフェト。その子孫。

(4) 「エジプトの初代ラー」マルドゥクとサテイ子孫エンキメの娘のサルニパトの子アサル（死す）、サツ、ナブ。

アサルとシャムガズの娘アスタの子ホロン。その子孫。

サツとシャムガズの娘ネバトの子？

(5) イギギの反逆首謀者シャムガズと200人とアダパ族の女性たちの子孫。

これに従えば、ニビルの神々の血筋や家来のイギギとの血筋の濃さにより、少なくとも5種類の人類が誕生したことになる。最初の失敗作^{*33}の人類を入れたら6種類ということになる。

45万年前にニビルの神々は最初にペルシャ湾に着水した。それからメソポタミアにエリドゥを作る。そこが地球における拠点になった。

その後、アプスという呼び名の地、アフリカの南部で金鉱を発見したのだ。その掘削の過酷さにアヌンナキ労働者が反逆する。そうして、25万年前に新しい労働者を作り始める。その人類作製の実験の場所がアフリカ東部だった。

*33 おそらくネアンデルタール人

こうして最初の人類、旧人類ネアンデルタール人が誕生した。しかし彼らは、まだ毛むくじゃらで黒髪で色が黒かった。彼らは、知能が低く、言葉話せず、アヌンナキには価値がなかった。

そこで、次にもう一度人類作製実験を行う。それが、我々日本人の祖、新人類の黄色人種だった。男の髪は黒かったが肌の毛は濃くなかった。女の髪は茶髪に近く、肌もかなりニビルの神々に似て色白だった。女は可愛らしかった。

そこで、女好きのエンキは、2人の新人類の女をたぶらかし、それぞれに子を産ませた。それが、アダムとイブのモデルとなったアダパとティティだった。彼らは結婚し、2人の息子のカ・インとアバエルを生んだ。

アヌンナキから、カ・インは農業を習い、アバエルは牧畜を習った。その2人の息子のカ・インとアバエルが、カインとアーベルの神話の元ネタになった。しかしカ・インはアバエルを水利権問題で紛争し、うっかり殺してしまう。神々に裁判され、カ・インは東方へ追放された。

アダパとティティはもうひとりの子サティを生む。こうして人類の祖が始まって行くのだ。

これがゼカリア・シッチンの読み取った地球人類誕生史だ。ゼカリア・シッチン説は公表後世界に衝撃を与えた。

しかし、その反面、アカデミズムの世界からは、さまざまのありきたりのイチャモンを付けられた。いまではゼカリア・シッチン博士の誤訳と思い込みから出た、エセ科学、とんでも説だという扱いだ。まさにニコラ・テスラに対するアカデミズムの扱いを思い起こさせるものがある。

そうやって、火消し人が現れて、火を消していくのだ。いまでは、

ゼカリア・シッチン説をまともに考える学者は皆無になってしまったのだ。

13.7.5 ペルシャ湾で古代遺跡が発見

はたしてゼカリア・シッチン博士のこの説は信憑性がないのだろうか？

単なるシッチン博士の妄想のようなものなのだろうか？

どこかにこれを支持する別のルートの根拠はないのだろうか？

ところが、時代が経つと興味深いことが現れる。まず、ペルシャ湾で古代遺跡が発見されるのだ*³⁴。

失われた文明がペルシア湾の海底に存在したかもしれない？

ペルシャ湾の下に埋まった、かつて栄えた地表は、75000年前から10万年前にアフリカの外に出た初期人類のあるものが存在したということをサポートしていると、最新の研究解説が示唆しているという。そのピーク時では、その洪水が襲った平原は、今ではペルシャ湾の下に位置するが、ほぼ大英帝国の大きさがあった。それ以後、水がその領域を洪水で覆うにつれて縮小した。その時とは、今から8000年前ごろであり、その土地はインド洋に飲み込まれてしまったとその科学者たちは解説した。

*³⁴ ペルシア湾で未知の海底遺跡発見！？：はたしてニビルの神々の住処か？；
<https://quasimoto.exblog.jp/13807361/>.



図 13.12 ペルシャ湾で古代遺跡が発見
失われた文明がペルシア湾の海底に存在したかもしれない？
Lost Civilization May Have Existed Beneath the Persian Gulf
<https://quasimoto.exblog.jp/13807361/>

13.7.6 冥王星ガガは月とそっくり

さらにその後、冥王星の最新写真が送られてくる^{*35}。すると、冥王星ガガは月とそっくりだということが分かる。これもゼカリア・シッチン説のガガの描写どおりだったのだ。ガガは土星の衛星だった。それがマルドゥックの衝突で飛ばされて冥王星になった。

キングウはティアマトの衛星だった。ティアマトがマルドゥックの大接近の際、キングウとティアマトの半分が地球の軌道に飛ばされ、地球と月になったのだ。

こうして、ゼカリア・シッチンの説である、太陽系の解釈は正し

^{*35} 最新冥王星映像が語る「冥王星ガガは月とそっくり」：再びシッチン予言大当たり！？ ; <https://quasimoto.exblog.jp/23421417/>.

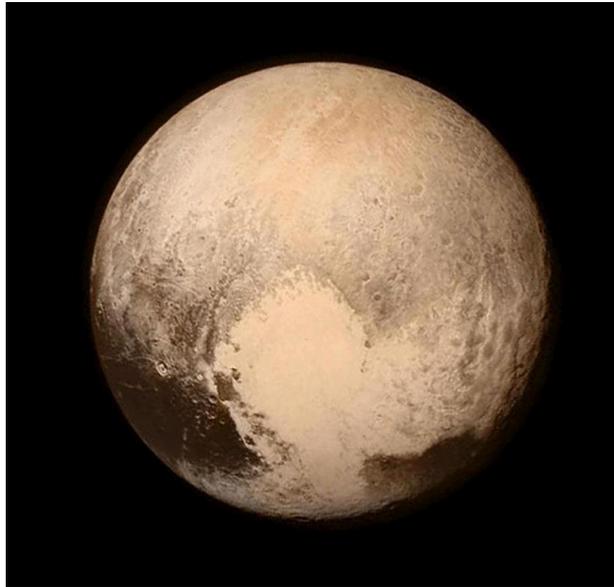


図 13.13 冥王星の最新映像
最新冥王星映像が語る「冥王星ガガは月とそっくり」:再びシッチン予言大当たり!?
<https://quasimoto.exblog.jp/23421417/>

かったというわけなのだ。

太陽アプス「最初から存在したもの」

水星ムンム「アプスの参事官で使節」

金星ラハム「戦いの女性」

火星ラフム「戦争の神」

地星ティアマト「生命を与えた処女」

木星キシヤール「堅い土地の一番先の」

土星アンシャール「天の一番先の」

冥王星ガガ「アンシャールの参事官で使節」

天王星アヌ「天の彼」

海王星エア（ナディンムド）「技巧的な創造主」

そして、何よりものゼカリア・シッチンの説の正当性を保証する証拠が見つかってくるのだ。それが、地球人の遺伝子解析だったのだ。

13.8 人類の「Y 染色体」ハプログループ分布と「シッチンの人類創世説」に矛盾があるか？

ところで、人類の「Y 染色体」ハプログループというものをご存知だろうか？

Y 染色体の DNA は父方の祖先を探る手がかりだ。一方、ミトコンドリアのリング状の DNA は母方の祖先を探る手がかりだ。人類史は、男による支配の歴史だ。女は男による支配を受ける歴史だ。だから、どうしても Y 染色体の DNA を調べなければならないのだ。

13.8.1 Y 染色体

人間には性染色体がある。男は X と Y の染色体だ。Y が父親から、X が母親から来る。女は X と X の染色体だ。X が父親から、X が母親から来る。2 個で 1 ペアを作る。それ以外はすべて XX のペアの形の染色体が 23 対ある。1 ペアのみ違いがあるのだ。そして、それが男女の違いを生じさせる。だから、性染色体と呼ばれるわけだ。人の染色体は全部で 24 対ある。



図 13.14 人間の Y 染色体
<https://ja.wikipedia.org/wiki/Y> 染色体
<https://quasimoto.exblog.jp/14404722/>

それは、人類の「Y 染色体」*³⁶の分布の研究成果についてである。これは「人類の進化」というか、「人類のルーツ」を辿る、遺伝子レベルの科学研究である。

これまでのこういう研究には2種類ある。1つは、ミトコンドリア DNA を調べるもの。2つめが、男性の性染色体である Y 染色体 DNA を調べるもの。前者は、母系遺伝のため、母親のルーツを辿る。後者は、父系遺伝のため、父親のルーツを辿る。

この手の研究の最初は、ミトコンドリア DNA の研究が主流であった。

我々の母親の祖先の祖先がどこから来たか？

この問いの答えとして、「我々の先祖の母親は、東アフリカからやってきた」という、非常に有名な話に繋がった。これが「ミトコ

*³⁶ <https://ja.wikipedia.org/wiki/Y> 染色体.

ンドリア・イブ」の伝説だ。これは単なる伝説に過ぎなかった。あるいは、研究者の思い込みだ。

比較的最近になって、遺伝子解析技術がかなり高度に進歩した。そのために、ミトコンドリア遺伝子よりはるかに複雑で大きな遺伝子である、Y染色体全体の解析ができるようになったのだ。Y染色体には、大ききの割には意味のある遺伝子の数が極端に少ないことが知られている。

そんなわけで、父方の系譜を辿るにはもってこいの遺伝子となった。それで、最近までにかなり研究されて来たようである。そして、昨今では、かなり詳細な遺伝子のグループ分けが行われるようになったのだ。

どういう観点からこの手の研究に興味があるのだろうか？

それは、例のゼカリア・シッチン博士の「ニビル神々（シュメール神々）による人類創造説」の真偽を確かめたいからだ。もちろん、普通の科学者たちは、鼻からシッチン説など無視しているわけだ。だから、そういう観点で研究しているものはいない。つまり、言い換えれば、この手の研究には、「偏見が入っていない」ということである。これこそ、「2重盲研法」として最適のデータである。

これで、もしこの研究の結果とシッチン博士の説に明らかなる食い違いが見つかったとしよう。そうすれば、シッチン説がいくら興味深い言説であったとしても、残念ながら、シュメール神々の人類創世説はお陀仏ということになる。

13.8.2 Y 染色体のハプロタイプ

さて、Y 遺伝子のハプロタイプ (= 対立遺伝子の組み合わせ) には、どのようなものがあるか？

以下のようなものである。

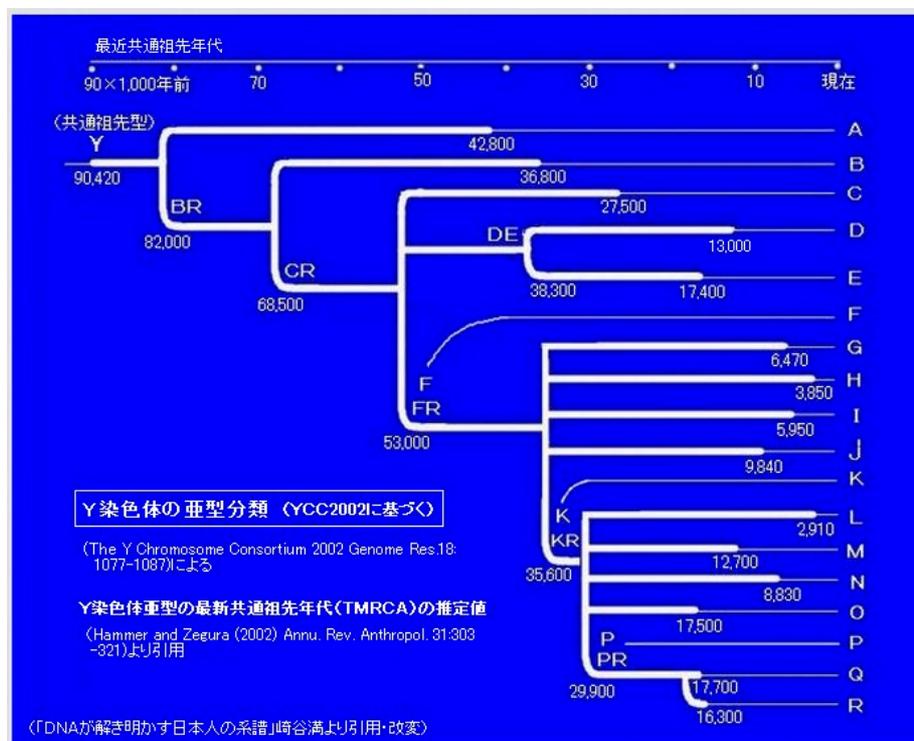


図 13.15 人間の Y 染色体の分岐ハプロタイプ
DNA 調査ポイントの青写真
<http://yohane.natsu.gs/000000sekaiidennsi1.htm>
<https://quasimoto.exblog.jp/14404722/>

13.8.3 Y 染色体の系統分類

Y 染色体は、大きく分けて A から R までの 18 系統に分けられる。幹→枝の分岐から以下の 5 つのグループに分けられる。

〈 〉は分岐年代。

- ・ A系統 : アフリカに固有 〈4.28 万年前〉
- ・ B系統 : アフリカに固有 〈3.68 万年前〉
- ・ C系統 : 出アフリカ第1グループ 〈2.75 万年前〉
- ・ D－E系統 : 出アフリカ第2グループ 〈3.82 万年前〉
- ・ F－R系統 : 出アフリカ第3グループ 〈5.30 万年前〉

これを図示すれば、だいたいこんな感じらしい。

これは、右へ行くほど新しい、つまり、最近に分かれたということを示している。一番左の A、B 系統（黒人種型）がアフリカ東南部で出発のグループだ。右側の P、Q、R ほど西洋人型（白人種型）ということになる。

さて、これらのハプロタイプ名を踏まえて、以下の図が、この世界の Y 染色体分布地図だ。すなわち、父方の先祖がどのように分布しているかということを示す。つまり、言い換えれば、人種の基本分布である。これは本当に面白いデータである。

（あ）まず、西洋白人（コーカソイド）に主流の遺伝子には、大別して4つある。この図では、赤色＝ R1b、黄色＝ R1a、ピンク＝ I、紫色＝ N、である。

この解釈は、さまざまなものがあるようだが、ここでは私が勝手に自己流に解釈すると、以下のような感じだろう。

おそらく、黄色は、「金髪碧眼」のコーカソイド種を代表すると見て良い。

赤色は、「黒髪のラテン系」のコーカソイド種を表すと見て良い。

ピンクのメソポタミヤ地方にも分布しているように見える。それゆえおそらく、「アッシリア・バビロニア」ルーツにみえる遺伝子グループ。ここでは「バビロン系」と呼ぼう。

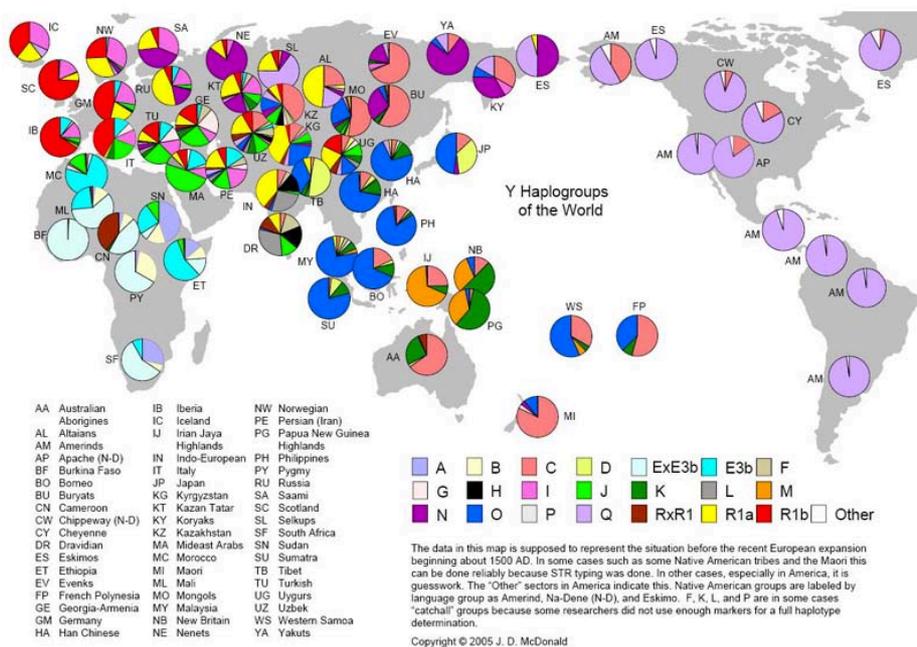


図 13.16 人間の Y 染色体ハプロタイプの世界分布
 Y 染色体の世界分布
<http://bbs.jinruisi.net/blog/2008/11/000467.html>
<https://quasimoto.exblog.jp/14404722/>

紫色は、北方ルーツのアジア系の遺伝子のように見える。これは「北方系」のモンゴロイド種だろう。

西洋人は、基本的にこの4つの父系を持っているようだ。しかし、もう一つ、欧州から北アフリカからさらに中東に分布する、水色 = E3b もある。おそらく、これは、いわゆる「セミ (ユダヤ) 系」ルーツの遺伝子なのだろう。

この欧州の分布だけを調べたものが以下のものだ。(これでは、赤色、黄色は共通だが、他のものは色がずれているのでちょっと分かりにくい。ピンクが緑青色、水色がオレンジ色になっている。)

(い) 次に大変興味深いのは、P、Q、R の Q の分布である。Q は

Y-DNA haplogroups map of Europe and the Near East by country

Right-click to zoom in.

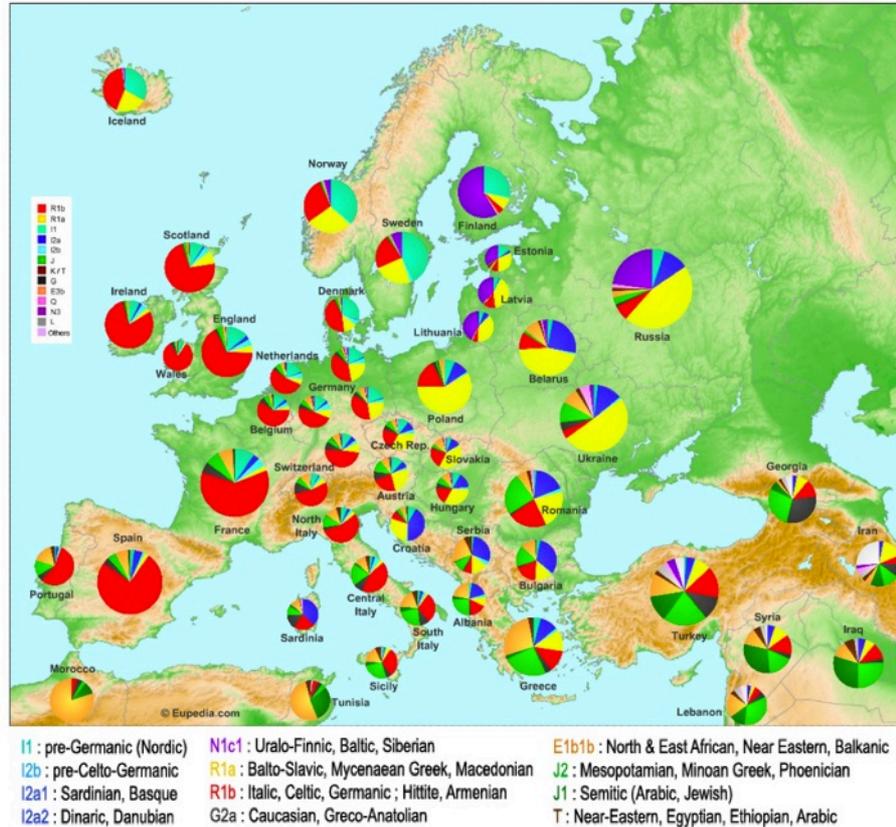


図 13.17 人間の Y 染色体ハプロタイプの欧州分布
 Y 染色体の欧州分布
<https://quasimoto.exblog.jp/14404722/>

アメリカ先住民、つまりアメリカン・インディアンの先祖である。見かけでは、非常にアジア人型であるのに、遺伝的には西洋白人に近い父を持つというのだ。

特に、南アメリカは顕著である。これから、明らかに南アメリカの純粋 Q 種とアジア伝来の肌色 = C 種が北アメリカで交雑したように見えるというところだ。この Q を「インカ」型と呼ぶことにする。しかしながら、今の段階では、Q と C のどっちが「インカ」

型かは判定しにくい*³⁷。

(う) 日本人については、日本人による研究がたくさんある*³⁸。詳しいのはそういうものを見てもらう。

ここでは、上の図にある特徴を述べると、日本人は、青色 = O、クリーム色 = D、紫色 = N、肌色 = C の 4 種類しかない。

従来の縄文弥生伝説の顔のイメージで言えば、青色 = O = 「弥生系」、肌色 = C = 「ポリネシア系」 = 「沖縄縄文系」、紫色 = N = 「北方アジア系」 = 「アイヌ系」、クリーム色 = D = 「大和系」というところだろう。青と肌色の区別はむずかしい。一応、これがもっとも自然な感じがする。

意外なのは、オーストラリア先住民のアボリジニだ。彼らはアイヌが同根ではないかということは知られていた。しかしながら、この種族アボリジニが北方アジアから北アメリカにも繋がっていたのだ。実に興味深い。

13.8.4 Y 染色体の系統分類とシッチン博士の人類創世説との一致

はたしてこの分布とゼカリア・シッチン博士の人類創世説とに明白な矛盾点があのだろうか？

結論からいうと、驚くべきことに、全く矛盾がないのである。むしろ、この結果はゼカリア・シッチン説を裏付けるようにみえる。

*³⁷ 後の考古学的研究から C が本来の先住民のコロ族のものだと解るだろう。

*³⁸ 尾本恵市, 針原伸二, Mark Stoneking, 宝来聡, 「日本人の起源の重層性について — 狩猟採集民と農耕民の Y 染色体にとって日本は共通のグラウンドであった —」 (2013 年 4 月 27 日);

そればかりか、なぜこういう分布になったのか？ この理由すら、ゼカリア・シッチン説はうまく説明するということなのだ*39*40。

なぜなら、ゼカリア・シッチン説によれば、ニビルの神々の王子エンキの性癖の悪さから、地球人の女と交配して子供を作る度に人類が分岐したのだ。その回数は、最初的人类ネアンデルタール人の創世から数えて計5回。これがちょうどY遺伝子ハプロタイプの大きな5回の変化と見事に対応するのだ。

また、エンキが地球の女と交配した場所も人類進化の分岐点の場所とほぼ一致している。むしろ、人類の分岐がなぜその場所で起こったかの理由を説明することになる。

さらに、いわゆるアーリア人がインド北西部ウクライナの「ヒマラヤスギのある場所」*41に誕生したことが説明されるのだ。なぜなら、そこに宇宙からの監視役だったイギギのアヌンナキ200人ほどが地上へ降り立ち、地球人の女を拉致し、「星の街」*42を建設したからだ。

このアヌンナキは非常に反逆精神が満ちていた。その割に、彼らは肉体労働が嫌いだ。逆に彼らはやたらと地球人の女が大好きな金髪碧眼の白人種だった。

このイギギのアヌンナキの性質はいまの西洋白人種に根強く根付いている。現在の白人男性の人格と非常に共通するものがある。彼らの若者はやたらと日本人や東洋人の若い女性が好きだ。白人男性

*39 「旅する遺伝子」のように「旅した日本人」：大和民族にはヨセフとアセナテ（イシス）の遺伝子があるのか？ ; <https://quasimoto.exblog.jp/21621992/>

*40 スペンサー・ウェルズ著/上原直子訳「旅する遺伝子-ジェノグラフィック・プロジェクトで人類の足跡をたどる」(英治出版, 2008年).

*41 北ユーラシア

*42 ロシアにはいまでも「星の街」という呼び名が残っている.

は金持ちになり、老人になると、決まって日本人妻を娶りたがる。

事実、このウクライナ地方こそが西洋人の金髪碧眼の発祥地であることは最近までの遺伝子研究と考古学や歴史研究から明らかになったのだ^{*43}。

このように、1980年代に現れたゼカリア・シッチン説と21世紀になり現れた人類のハプロタイプ研究の結果とは、非常に良く一致しているのだ。言うまでもなく、ゼカリア・シッチン博士は、ご自身でニビルの研究を行ってる時に人類の遺伝子研究など知るはずもないのだ。ヒトゲノムの全解読は世紀が変わった後の2003年に完了したのだ^{*44}。Y 遺伝子のハプロタイプ研究はその後に出てきたのである。

これは驚くべきことではないのだろうか？

13.9 白人種のルーツ

13.9.1 アーリア人とは？

アーリア人とは、アーリアン (Aryan)、つまり、エイリアン (Alian) と同じ語源の言葉だ。だから、最初は宇宙人だったことを意味するとも考えられる。なぜなら、ニビルの時代、ニビルの言語は、r と l は区別しなかったからだ。

つまり、アーリアン (Aryan) とは、金髪碧眼の白人種の言い換え。エイリアン (Alian) とは、宇宙人や他所から来た人の言い換

^{*43} 青い目と金髪の起源～古代人 DNA 解析の進展で明らかになってきたヨーロッパ人の形成過程～;
<https://www.youtube.com/watch?v=NoKazM7GGos>.

^{*44} ヒトゲノム計画; <https://ja.wikipedia.org/wiki/ヒトゲノム計画>

え。ニビルの神々やアヌンナキは、宇宙から来た金髪碧眼の白人種だったわけだ。したがって、アーリアン (Aryan) = エイリアン (Alian) と考えてよいというわけだ。

同様のことは、西洋語にはたくさん存在するのだ。一番分かりやすいのは、blood と bright だ。

古代ユダヤ人は金髪碧眼の長身白人で極めて知的に優秀だった。これが、俗にいう「アーリア人」(優秀な人間という意味)である。これらは西洋ではユダヤ人という意味のヘブリュー (Hebrew) が当てられた。事実、聖書のアブラハムはそういう男だ。ユダヤ人という意味のヘブリュー (Hebrew) とは、金髪碧眼の長身で優秀な白人という意味にすぎない。

その「ヘブリュー (Hebrew)」のブリューの部分や「ヘブル」のブルの部分になまったものが、英国人のブリティッシュ (British) や英国ブリテン (Britain) や聡明の Bright の"BR"なのだ。

同じく、血液のブラッド (Blood) や金髪ブロンド (Blonde) や青のブルー (Blue) の"BL"などもそうなのだ。これは、「ヘブリュー (Hebrew)」の血筋や金髪や青い目という意味だ。つまり、これらの言葉は、金髪碧眼の長身で優秀な白人の古代ユダヤ人をイメージし、これを表すために作られた音声文字なのだ。

このルーツからフェニキア人になり、それからウクライナのサカ人、スキタイ人となった。それが近代のアングロサクソン人とつながり、現在の英米人となった。それゆえ、イスラエルのユダヤ人も英米の WASP (白人・アングロサクソン・プロテスタント) もルーツは同じなのである。彼らはそれを単純に心底信じているのだ。

13.9.2 アーリア人はどこから来た?

このアーリア人はどこから来たのだろうか？

どこで誕生したのだろうか？

つまり、金髪で青い目の地球人はどこに生まれたのだろうか？

これが長らくの謎だった。

しかしながら、これは最近までの DNA 研究や考古学研究などの様々な研究から、かなり分かったのだ^{*45}。

地球人の中で、最初に金髪が誕生した場所は、「アフォントヴァゴーラ遺跡」の場所だったのだ。この地に、長身で堀の深くニビル髭の金髪碧眼白人種が生まれたのだ。これが古代北ユーラシア系統と呼ばれる種族である。「アフォントヴァゴーラ遺跡」には、16000年前の金髪の個体が発掘された。

13.9.3 ニビル髭とは？

ところで、ニビル髭とはニビルの神々のような髭の意味である。いまの白人特有のサンタクロースのような髭のことだ。彼らの髭は、我々日本人や超古代エジプトの王家のようなあごひげだけの髭とは違う。

日本人にももちろん髭の濃いニビル髭のものもいるが、大半は天皇家のように、口ひげとあごひげしか伸びない。頬からもみあげま

^{*45} 青い目と金髪の起源～古代人 DNA 解析の進展で明らかになってきたヨーロッパ人の形成過程～;
<https://www.youtube.com/watch?v=NoKazM7GGos>.



図 13.18 アフォントヴァゴラ遺跡の場所
青い目と金髪の起源～古代人 DNA 解析の進展で
明らかになってきたヨーロッパ人の形成過程～
<https://www.youtube.com/watch?v=NoKazM7GGos>

で続く濃い髭はない。これが、縄文人と白人の区別なのだ。

13.9.4 金髪碧眼種はどこで始まったのか？

さて、この現代の西洋人による金髪碧眼種のルーツの研究は非常に興味深い。まさに、ゼカリア・シッチン博士の説をそのままどっているかのように見えるからだ。

- ・まず東アフリカに人類の祖の現生人類が誕生する。
- ・50000年前にそれがエジプトのナイル川のあたりに住む人種が生まれる。これが基底ユーラシア系統である。もう1つがメソポタミアあたりに住む人種になる。これがメインユーラシア系統だ。
- ・メインユーラシア系統の人種は40000年前に、ユーラシア全域に広がる。そこで、西にとどまる西ユーラシア系統と東アジアへ

行った東ユーラシア系統と古代北ユーラシア系統に分かれる。

- ・これとは独立に、現生人類はヨーロッパにいたネアンデルタール人と混交し、欧州に広がる。しかし、イタリアの火山の噴火が起こした地球寒冷化でこの人種は絶滅する。

- ・39000年前にその人種のいなくなったヨーロッパに狩猟採集民の西ユーラシア系統の第一波がバルカン半島に進出する。これがオーリニャック文明を生み出す。この人種は、西ユーラシア系統の特徴の濃い黒髪、濃い茶目、濃い褐色肌、ニビル髭だった。

- ・33000年前に最終氷期最盛期が起こる。地球寒冷化で西ユーラシア系統第二波が東欧へ進出する。オーリニャック文化に参入する。そしてグラベット文明を生み出す。これがヨーロッパ全域に広がる。この人種は西ユーラシア系統の特徴の濃い黒髪、濃い茶目、濃い褐色肌、ニビル髭を持っていた。

- ・そして、25000年前に何かが起こる。25000年前に、古代北ユーラシア系統に、初めて金髪碧眼が生まれるのだ。その地域のアフントヴァゴーラ遺跡に、16000年前の最古の金髪の個体が発掘される。肌には言及がないが、おそらく白人種だろう。

- ・これが東欧へ進出する。東ヨーロッパ狩猟採集民になる。これがいまのヨーロッパの白人種のルーツになるのだ。

- ・19000年前に消滅したはずのグラベット文化から欧州南部のマグダニアン文化ができる。これが欧州に広がる。

- ・14000年前にはイタリア北部から生まれた人種は、濃い黒髪、青い目、濃い褐色の肌を持っていた。この人種は欧州南部のマグダニアン文化を吸収する。これが西ヨーロッパ狩猟採集民だ。これが西ヨーロッパ人の基礎になる。いわゆるラテン系ヨーロッパ人の祖だ。

- ・ 8500年前、カスピ海西部にいた古代北ユーラシア系統、いまのトルコ東部あたりにいた西ユーラシア系統、いまのイラクあたりにいた基底ユーラシア系統の3系統が、いまのトルコ中西部で合流した。それが、アナトリア農耕民になり、アナトリア農耕文化を生み出す。これがヨーロッパへ進出する。この民族は、白い肌、黒髪、茶目、ニビル髭を持っていた。
- ・ このアナトリア農耕民は、ヨーロッパへ渡る。これがヨーロッパ初期農耕民となる。バルカン半島経路と地中海沿岸経路を通じて欧州全域に広がる。
- ・ 7500年前にヨーロッパ中央部に対する。
- ・ 11000年前にスカンジナビア半島にドイツから西ヨーロッパ狩猟採集人、北部から東ヨーロッパ狩猟採集民が流れ込む。東ヨーロッパ狩猟採集民は、白い肌、明るい茶髪、明るい茶目、ニビル髭だった。一方、西ヨーロッパ狩猟採集人は、濃い茶色い肌、濃い茶髪、青い目。ニビル髭だった。
- ・ 8000年前までに、この2つが混交し、スカンジナビア狩猟採集民になった。
- ・ 7700年前に、この地のスカンジナビア狩猟採集民は、いわゆる欧州白人が誕生した。金髪、白肌、青い目、ニビル髭の人種の誕生だ。
- ・ 5000年前に、東ヨーロッパ狩猟採集民、西ユーラシア系統、コーカサス狩猟採集民、基底ユーラシア系統イラン農耕民の3種族が、ステップ地帯遊牧民が生まれる。ヤムナ文化を作る。これがいわゆるスラブ民族の祖である。このステップ地帯遊牧民は、白肌、茶髪、茶目、ニビル髭だった。
- ・ このステップ地帯遊牧民が欧州全域に広がり、ヨーロッパ初期農

耕民と合流する。これがケルト人だと考えられている。ここにいわゆるヨーロッパ人の基本人種が誕生する。

ここから“西洋の歴史”が始まったのだ。

13.9.5 インド・ヨーロッパ語族の誕生

こうして、インド・ヨーロッパ語族が誕生したというわけだ。な



図 13.19 インド・ヨーロッパ語族の系統図
 青い目と金髪の原因～古代人 DNA 解析の進展で明らかになってきたヨーロッパ人の形成過程～
<https://www.youtube.com/watch?v=NoKazM7GGos>

なぜこの地域一帯が同じ種類の言語しかないのか？

これがその理由というわけなのだ。

そして、この地域で一番長身の金髪碧眼白人種がアーリア人を名乗り、帝国主義思想を生み出す。それが3000年前から4000年前のことだ。ここから現代まで一気に進むというわけだ。

13.9.6 白人文明には古史古伝がない

不思議なことに、西洋人には彼らのこうした歴史の古代の歴史がほとんど伝承されていない。文明としては、シュメール文明、メソポタミア文明、エジプト文明まで、文字としては、せいぜいシュメール文明の石碑とエジプト文明のヒエログリフまで遡れる程度だ。

しかし、それは彼らの文明における伝承にはなっていない。ましてや、その先を語ることなどありえない。西洋人が知っているのは、せいぜいギリシャ・ローマ文明の時代、およびその頃に生まれたキリスト教の文明でしかない。

だから、彼ら西洋白人種に超古代の記憶があるとすれば、何かが語り継がれているはずだ。ところが、何もない。つまり、彼らはその先を生きていない。少なくともきちんとした文明人としての生活をしていなかったということを意味するだろう。

そんなわけで、彼らには聖書しかないのだ。聖書以前は聖書の中にしかない。実に奇妙な話になるわけだ。したがって、聖書の記述には、韓国の檀君神話のようなことが行われたと考えられるのだ。

つまり、自分たちの歴史をよく見せるために、他の民族の先史知識を拝借しているのだ。ゼカリア・シッチン博士は、それがシュメール文明だったとしたのだ。シュメールの神話の一部を聖書の神話に変えたのだ。

13.10 日本の古史古伝

13.10.1 竹内文書

では、我が国の日本人の場合はどうなのだろうか？

我が国はそれとは全く異なるのだ。我が国の場合は、いわゆる有史という意味で、国家というもので見た場合、皇紀2681年の歴史がある。我が国、日本国は世界最古の国家だ。キリスト教が生まれた2021年前よりはるかに古い。

その母体は天皇家にある。だから、その天皇家のルーツを調べるなら、我が国の歴史の真の歴史がわかるはずだ。

ところが、面白いことに、世界でたった1つ我が国だけに、古史古伝という書物がある。西洋人により文明開化した明治以降の日本では、西洋人の立場に悪影響されて^{*46}、古史古伝は偽書と扱われた。この古史古伝には、いくつもの書物がある。

それらの内、一番興味深いものは、「竹内文書」^{*47}である。竹内文書には、残念なことに、2系統ができてしまった。正統竹内文書と非正統の竹内文書の2つである。

正統というのは、元祖竹内宿禰^{すくね}の血筋を引く、「第73世竹内宿禰^{すくね}」の竹内睦泰^{たけのうち}氏の語る竹内文書のことだ。これは、第1世の竹内宿禰^{すくね}が第2世竹内宿禰^{すくね}へ、第2世竹内宿禰^{すくね}が第3世竹内宿禰^{すくね}へ、そうやって、第72世竹内宿禰^{すくね}から第73世竹内宿禰^{すくね}の竹内睦泰氏

^{*46} つまり彼らは自分たちがインチキを行うことを他民族もやると考えたわけだ。当時の日本人はその悪影響を受けたのだ。

^{*47} 武内睦泰著「正統「竹内文書」の謎」(学研プラス, 2013年)。

へ口伝くでんしたものだ。しかし、本来は口伝は他人に語ることはご法度。禁じられていた。それをあえて犯して出版したものが、第73世の竹内宿禰すくねの著作なのだ。

私は2019年4月28日にこの竹内睦泰氏と都内で対談した*48*49。

こうして、第73世竹内宿禰すくねは、2020年1月13日の年初に短い命を終えた*50。愛称は「むっちゃん」先生だった。

非正統というのは、古代に竹内宿禰すくねから聞いた話を家臣が記録し、それを古書として保管し、明治まで温存した。さらに戦前、太平洋戦争の戦火を逃れるように、土に埋めて隠した。さらに戦後、米進駐軍による没収の魔の手から隠し、なんとか持ちこたえた古文書を現代語に訳して出版した。そういういわくつきの奇書のことだ。こちらはこちらで命がけで守ってきた竹内文書の記録と言える。

だから、私としてはどちらにも捨てがたい魅力がある。

13.10.2 日本の古史古伝の種類の豊富さ

我が国には本当にたくさんの古史古伝が存在する*51。古事記は、天皇家と神道の基本となる。これは西洋の聖書に対応するものだ。

*48 <冒頭 16 分>一周年祈念特別講演会 『日本人とは何者か？ 日本はどこへ向かうのか？』； <https://ameblo.jp/takeuchisukune/entry-12648600954.html>

*49 <冒頭 16 分>一周年祈念特別講演会 『日本人とは何者か？ 日本はどこへ向かうのか？』 最新科学と古神道の激突； <https://www.youtube.com/watch?v=qwwoMSovGao>.

*50 <https://ameblo.jp/takeuchisukune/>

*51 <https://ja.wikipedia.org/wiki/古史古伝>.



図 13.20 第 7 3 世 竹内 ^{すくね}宿禰 こと 竹内 ^{たけうち むつひろ}睦泰 氏
武内睦泰著「正統「竹内文書」の謎」(学研プラス, 2013年)
古神道宗家武内宿禰・竹内睦泰の神道・歴史・文化ブログ
<https://ameblo.jp/takeuchisukune/>

西洋ではそれ以外に古史古伝がない。しかし、我が国には古史古伝が信じられないほどたくさん存在するのだ。

- ・ 古典四書と呼ばれるものには、古事記・日本書紀・先代旧事本紀(旧事紀)・古語拾遺がある。
- ・ 古伝四書と呼ばれるものには、ウエツフミ (大友文書、大友文献ともいう)・ホツマツタエ (※漢字ではなくカナ書きするのが吾郷の流儀)・ミカサフミ・カタカムナのウタヒ (いわゆる、カタカムナ) がある。
- ・ 古史四書と呼ばれるものには、九鬼神伝精史 (いわゆる「九鬼文書」。^{あまつたたらひふみ}天津鞆鞆秘文は九鬼文書群の一部である)・竹内太古史 (いわ

ゆる、竹内文献。天津教文」「磯原文書」ともいう)・富士高天原朝史(いわゆる、^{ふじやもんじょ}富士谷文書。「宮下文書」「富士宮下古文献」ともいう)・物部秘史(いわゆる「物部文書」)などがある。

・異録四書と呼ばれるものには、^{つがるそとさんぐんし}東日流外三郡誌(いわゆる「和田家文書」の一つ)・^{たじまこじき}但馬故事記(但馬国司文書とも。但馬故事記は本来は但馬国司文書の中の代表的な書物の名)・^{おしひのつたえてんそんき}忍日伝天孫記・^{しんとうげんてん}神道原典などがある。

・東亜四書とよばれるものには、^{きったんこでん}契丹古伝(『神頌叙伝』ともいう)・^{かんだんこき}桓檀古記・^{こうざんほうかん}香山宝巻・^{ほうかんへんぶんるい}宝巻変文類がある。契丹古伝は契丹で発見された古伝。桓檀古記は韓国で発見された古伝。香山宝巻と宝巻変文類は中国で発見された古伝。

13.10.3 日本語の「あいうえお」

面白いのことに、どういうわけか、その古史古伝は「神代文字」と呼ばれる非常に奇妙な文字で書かれている。文字体はさまざまでも、読み方はすべて同じだ。それは、ひらがなやカタカナと同じ、「あ」から始まり「ん」で終わるのだ。いわゆる「あ・うん」の呼吸だ。

神社仏閣の^{こまいぬ}狛犬*52は、右が口を開いた「あ」、左が口を閉じた「ん」の姿をしている。お寺の仁王像もそうだ。普通は、右が口を開いた「あ」、左が口を閉じた「ん」の姿をしている。浅草寺は逆のようだ。

このように、日本語には、あ行～わ行までの50音と最後の「ん」

*52 <https://ja.wikipedia.org/wiki/狛犬>.



図 13.21 狛犬右が口を開いた「あ」、左が口を閉じた「ん」の姿
<https://ja.wikipedia.org/wiki/狛犬>



図 13.22 仁王像 金剛力士右が口を開いた「あ」、左が口を閉じた「ん」の姿
<https://ja.wikipedia.org/wiki/金剛力士>
http://www.gokokuzan-houenji.jp/about_hoenji/niouzou.html

まで合わせて 51 音ある。

13.10.4 日本語の合理性

日本語の 50 音は世界で最も合理的で数学的な言語構造をしている。英語のアルファベットは 26 文字ある。このうち、a, i, u, e, o の 5 文字と k, s, t, n, h, m, y, r=l, w の 9 文字の計 14 文字で 50 音がカバーできる。基本となる音節 (シラブル^{*53}) はこれだけし

五十音											
	わ行	ら行	や行	ま行	は行	な行	た行	さ行	か行	あ行	
(ん、ン) /n/ [N][n][m][ŋ][ɲ] ほか鼻母音など	わ、ワ /wa/ [β̞ä] あ、ア /a/ [ä]	ら、ラ /ra/ [jä]	や、ヤ /ya/ [jä]	ま、マ /ma/ [mä]	は、ハ /ha/ [hä]	な、ナ /na/ [nä]	た、タ /ta/ [tä]	さ、サ /sa/ [sä]	か、カ /ka/ [kä]	あ、ア /a/ [ä]	あ段
	ゐ、ヰ /i/ [i]	り、リ /ri/ [ri]		み、ミ /mi/ [mi]	ひ、ヒ /hi/ [hi]	に、ニ /ni/ [ni]	ち、チ /ci/ [ci]	し、シ /si/ [si]	ぎ、キ /ki/ [ki]	い、イ /i/ [i]	い段
		る、ル /ru/ [ru]	ゆ、ユ /yu/ [ju]	む、ム /mu/ [mu]	ぶ、フ /bu/ [bu]	ぬ、ヌ /nu/ [nu]	つ、ツ /cu/ [cu]	す、ス /su/ [su]	く、ク /ku/ [ku]	う、ウ /u/ [u]	う段
	え、エ /e/ [e]	れ、レ /re/ [re]		め、メ /me/ [me]	へ、ヘ /he/ [he]	ね、ネ /ne/ [ne]	て、テ /te/ [te]	せ、セ /se/ [se]	け、ケ /ke/ [ke]	え、エ /e/ [e]	え段
	を、ヲ /o/ [o] 昔は[β̞o]	ろ、ロ /ro/ [ro]	よ、ヨ /yo/ [yo]	も、モ /mo/ [mo]	ほ、ホ /ho/ [ho]	の、ノ /no/ [no]	と、ト /to/ [to]	そ、ソ /so/ [so]	こ、コ /ko/ [ko]	お、オ /o/ [o]	お段

図 13.23 日本語の基本 50 音 <https://ja.wikipedia.org/wiki/五十音>

かない。それに対して、英語のシラブルは非常に多い^{*54}。だから、日本語はどの国の人にも非常に発音しやすい。さらにニビルの神々の言葉のように r と l の区別がない。しかも日本語には、主語・目的語・動詞の SOV という膠着言語^{*55}の特徴がある。つまり、最後

*53 syllable

*54 音 節 の 構 造; http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/english/utsumi/linguistics/linguistics_c4_ja.html.

*55 <https://ja.wikipedia.org/wiki/膠着語>

・エスキモー・アリュート語族、マヤ語族など*56

13.10.5 神代文字

この日本語の始まりは、いつだったのだろうか？

それが古史古伝にある^{かみよもじ}神代文字*57なのだ。神代文字は、その時代を統治*58した天皇が作る権限を持っていたとされる。

実は、本来の天皇の仕事とは、天皇が自分の年号を持つ時代に年号を決める。それと同時に天皇自ら発案の50音の文字50字を作ることだったのだ。天皇陛下がその時代における神の代わりだった。それゆえ、神代文字と言われたのだ*59。

比較的有名になったものは、北海道異体文字、対馬文字、トヨクニ(豊国)文字、出雲文字、天名地鎮文字、ホツマ文字、天地文字、アヒル文字、ひふみ文字、草文字、アヒル草文字、阿比留文字、カタカムナ文字、あたりだろうか*60。

戦前、戦中、戦後と我が国が軍国主義の時代は、政府が反政府活動を恐れ、こうした古史古伝はその時代の政府により奇書あるいは発禁本扱いだった。だから、個人的にこっそり研究する事ができた程度だった。神社仏閣や個人の屋敷に隠したのだ。それが、最近にはまたスピリチュアル・ブームなどのために、表に出る時代に

*56 膠着語的だが、膠着の長さが極端（文全体が膠着する）なので、抱合語（正確には複統合的言語）とすることが多い。

*57 <https://ja.wikipedia.org/wiki/神代文字>

*58 しらす統治

*59 神代文字の一覧; <https://ja.wikipedia.org/wiki/神代文字の一覧>.

*60 日本語に秘められた謎:「NWOvs日本」と「超古代世界語は日本語だった!」;
<https://quasimoto.exblog.jp/22083629/>



図 13.25 神代文字
 右が神代文字のトヨクニ（豊国）文字、
 左が超古代エジプトのヒエログリフ
<https://ja.wikipedia.org/wiki/神代文字>
<https://quasimoto.exblog.jp/22303997/>

なった。

そして、ニコラ・テスラの研究や、UFOの研究や宇宙人情報などが、インターネット時代、YouTube時代になり、表に流されるようになったように、こうした神代文字や古史古伝の内容も徐々にインターネット上に流されるようになったのだ。こうして、いまではウィキペディアにも掲載されるような時代になったわけだ。しかしながら、ちょっと前までは、古史古伝を研究したり、読んでいたりすれば、マッドサイエンティスト扱いだったのだ。

13.10.6 岩窟文字

そうした神代文字は、さらに古い神代文字から派生したのだ。その超古代の神代文字は、紙や木に書かれたものではなかった。岩石

や洞窟の壁石に書かれていたのだ。それで、我が国では「岩窟文字」(ペトログリフ)*⁶¹と呼んだ。世界中に岩窟文字が発見される。しかしながら、これほど豊富に岩窟文字がある民族は日本人しかないのだ。

西洋人は、インドヨーロッパ語族だ。だから、基本的に表音文字の言語なのだ。彼らには音声言語になる。図形は言語に見えない。中国人もこの系統に入る。

しかしながら、東洋、特に日本人は表意文字だ。だから、図形と音声は関係を持つ。超古代のエジプトの文字は、表意文字だ。マヤの文字も表意文字である。

したがって、西洋の学者は、岩窟に書かれた文字と図形の差にこだわる。しかし、日本人の学者は両者を同等に扱う。ここに岩窟文字に対する扱いの違いが生まれた。

しかしながら、表意文字の扱いの方が正しい。エジプトのヒエログリフが表意文字から表音文字に変わったのは、ツタンカーメン王朝が滅んでクレオパトラの時代からだ。その時にオベリスクが建てられた。

超古代のエジプトの言語はいまだに解読されていない。なぜなら、彼ら西洋の学者には表意文字が簡単には理解できないからなのだ。ツタンカーメン以前の王朝は表意文字としてヒエログリフを扱っていたのだ。これが簡単にできるのは日本人だけなのだ。なぜなら、世界で日本語だけが、表音文字と表意文字が一体化した言語だからなのだ。

日本の漢字やマヤ文字は表意文字だ。つまり、発音と意味が異な

*⁶¹ <https://ja.wikipedia.org/wiki/ペトログリフ>

る。インドヨーロッパ語族は表音文字だ。文字は発音だけを表し、意味を持たない。いまの中国の文字は準表音文字だ。発音はシラブルとして、漢字に当てられる。昔の漢字時代ほど、文字に意味がない。ところが、日本語のあいうえおは、発音を表す表音文字でありながら、その1つ一つに意味がある。だから、いわゆる当て字ができるのだ。

例えば、ここ徳島は阿波^{あわ}と呼ばれる。阿は「あ」を意味する表音文字だ。波は「わ」あるいは「は」を意味する表音文字だ。それでいて、漢字のもつ意味を乗せることができる。阿は「岸」を意味する表意文字だ。波は「なみ」を意味する表意文字だ。つまり、「阿波」とは、「岸辺の波」「川岸の波」のある地域という意味なのだ。こんな事ができる言語は、地球上で日本語しか存在しないのだ。

実は、これと全く同じセンスの言語、それが、ニビルの神々の言語だった*62。その一部がシュメール人に伝授されたのだ。

13.10.7 中国人はアーリア人の子孫

こういうことは中国人にも出来ない。なぜなら、中国人はもともとアーリア人が西ユーラシア系統の侵入により最初の帝国を生み出し、それが殷^{いん}王国になった*63。そこから、秦の始皇帝に始まり、いわゆる中国王朝の変遷の時代が続いたからだ。彼らは文字を持っていなかった。そこで現地のネイティブの表意文字言語を拝借しながら、表音文字の代用を行った。だから、中国語が西洋語、すなわ

*62 ゼカリア・シッチン著/ 竹内慧訳「地球の主」エンキの失われた聖書—惑星ニビルから飛来せし神々の記録」(徳間書店, 2008年). 他多数.

*63

ちインドヨーロッパ語族と同じ形式の言語として残ったのだ。だから、彼らは自身を中国の漢の時代に、「漢字」で「漢人」と書いた。これを昔のその時代の日本人は「あやひと」と呼んだ。つまり、いまでいう「アーリア人」のことなのだ。漢民族は古代アーリア人の血筋を持つアジア人混血なのだ。これがY染色体のハプロタイプの結果が正直に語るのだ。

13.11 高橋良典氏の世界探求

13.11.1 太古、日本の王は世界を治めた!

ところで、高橋良典氏の名を聞いたことがあるだろうか？

このタイトルは東大出身の高橋良典^{よしのり}先生の著書のものだ*64。

この人は日本のゼカリア・シッチン、あるいは、日本のエーリッヒ・フォン・デニケン*65やグラハム・ハンコック*66と言ってよい。そういう人なのだ。

彼は世界中を旅した。彼は世界中の古代遺跡を研究し回ったのだ。彼はそのために東大卒のエリート^{エリート}の肩書を捨てた。その目的のために、日本探検協会を作ったのだ。そして、自分の地球文化研究所を作ったのだ。いわば、同じように東大卒のエリート^{エリート}街道を捨て、空飛ぶ円盤製作に没頭するために重力研究所を作った、清家新

*64 高橋良典著「太古、日本の王は世界を治めた!/神代文字が明かす消された歴史の謎」(徳間書店, 1994年).

*65 Erich von Däniken, 1935年4月14日 - ; <https://ja.wikipedia.org/wiki/エーリッヒ・フォン・デニケン>.

*66 Graham Hancock, 1950年8月2日 - ; <https://ja.wikipedia.org/wiki/グラハム・ハンコック>.



図 13.26 高橋良典氏とロバート・ワッツ氏
高橋良典著「太古日本・驚異の秘宝—いま開かれる七つの扉」(講談社, 1994年)

一氏と相通じるものがある。

まず彼は日本の古代史、古代の遺跡、そして神代文字を研究したのだ。日本の神代文字の種類、特徴、場所、その意味、読み方などを研究した。

次に彼は神代文字が古代天皇と関係があることを突き止める。そして、天皇は古事記以降の天皇だけでなく、はるかに昔まで天皇には名前がついていることを突き止めていく。

そこから今度は彼は目を世界の古代遺跡に目を向ける。ちょうど我が国が高度成長期、バブル全盛期に入る時代であった。世界もいまより比較的平和でのどかな時代だった。だから、世界中を一人で

自由に旅ができたのだ。むろん、もうそういう事はできない。なぜなら、唯物史観、共産主義、物質主義的な左翼系の活動家は、あらゆることで人の自由を奪ったからだ。

例えば、昔なら機長が一般人をコックピットに入れてあげることも出来たのだ。乗客が誕生日だったとか、子供だったとか、そういう場合にはサービスとしてコックピット内で写真撮影できたのだ。事実、保江邦夫博士は、父と世界一周旅行の際、いまはなきコンコルドの機長や父といっしょにコックピット内で記念撮影させてもらったのだ^{*67}。昔はいまほど非常識が常識になった時代ではなかったのだ。

彼は、日本の天皇の神代文字の時代に合わせて、世界各地の古代文明が栄えていた事実に気づく。こうして、彼はひょっとしたら超古代は日本の天皇が世界を統治していたのではないかと気づくのだ。

そこから、この証拠探しに度に出る。そして、1990年代にその成果を本として矢継ぎ早に出版するのだ。そうして誕生した本が、最初のタイトルの本だった。

13.11.2 東日本王国ティムルンの謎

高橋良典氏の最初の難問は、古代シュメール文明の中にある「東の国ティルムン」の存在だった。すでに西洋の文明の祖になった古代シュメール文明は9000年前まで遡ることができる。ところが、その碑文の中にその古代シュメール文明の人々が憧れる国が東

^{*67} 保江邦夫著「戦闘機乗りジイさんの世界一周ーやっではいけない大冒険!!」(講談社, 2000年).

方にあると書かれていたのだ。

これは、いまも中東一般に古い伝説として残っている。特に、いまのユダヤ人が1947年に建国したイスラエル人は、その国歌^{*68}に「東の国へ」を意味する「東方の岸へ」^{*69}というフレーズが入るのだ。

イスラエル国家ハティクヴァ

心に秘めて今もなお、
ユダヤの魂が呼んで、
そして東方の岸へ、前へ、
目がシオンを目差している限りある——
我々の、希望はまだ失われていない、
その2千年の希望とは、
自由なる民として生きること、
シオンの地、エルサレムの地において

彼らにとって、東方は素晴らしい場所の意味になっている。これは、彼ら現代イスラエルの国歌だけれども、そのルーツは彼らの旧約聖書や古文書の古代ヘブル語からとったものなのだ。つまり、すでに古代イスラエルの時代に、東に輝かしい国が存在することを意味したわけだ。

同様に、キリストの生誕伝説には、「東方の3人の賢人がやってくる」という部分が入る。近代のヨーロッパ人にとって、東方と言えばトルコや中近東を意味した。さらにインドを意味していた。と

^{*68} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ハティクヴァ>

^{*69} 「東の国へ」を「東方の阿の国へ」と読むと、「東の阿波へ」となる。

ころが、インド人にはさらに東方にという伝説が入るのだ。

つまり、ヨーロッパ人、さらには中近東、さらにはインドや中国よりさらに東に輝かしい国がある。そういう伝説が世界に残るのだ。それが、ティルムンだった。そして、彼はついにそれが我が国日本のことだと発見することになる。こうして高橋良典氏は、我が国の古代の古史古伝と世界の古代文明との関係に行き着くのだ。

13.11.3 神代文字で世界の古代遺跡の碑文を完読する

超古代エジプトの未解読のヒエログリフが神代文字で見事に解読されること知っているだろうか？

その後、高橋良典氏は神代文字で世界の古代遺跡の碑文の解読に挑戦していくのだ^{*70*71}。その中で、彼は、世界の未解読の碑文を解読して歩く。そして、ついに超古代エジプトのツタンカーメンの首飾りの碑文を解読するのだ^{*72*73}。それは圧巻だ。

13.11.4 イースター島のロンゴロンゴ文字碑文の解読

最初に「イースター島のロンゴロンゴ文字碑文の解読」だ。この未解読の文字が、アイヌの遠い祖先が使用したとされる北海道異体

*70 高橋良典著「太古、日本の王は世界を治めた！」(徳間書店, 1994年).

*71 南山宏/幸沙代子/鈴木旭/高橋良典著「世界超古代文明の謎—大いなる太古の沈黙の遺産を探究する!」(日本文芸社, 1995年). 他多数.

*72 高橋良典著/日本探検協会編「[超図解] 縄文日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)

*73 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見 カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!! (日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年).

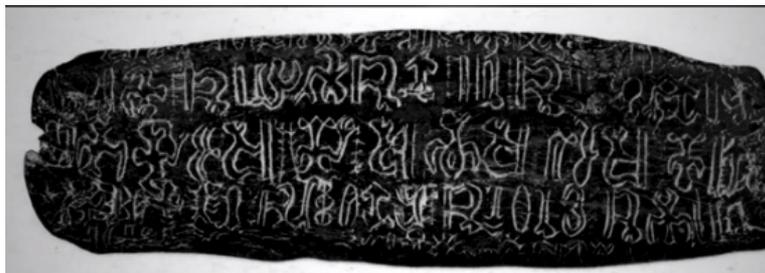


図 13.27 イースター島のロンゴロンゴ文字碑文
 高橋良典著/日本探検協会編「[超 図解] 縄文
 日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発
 見 カラ族とは原日本人! 太古の地球を平和に治めた神々だっ
 た!! (日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

文字と、我が国の神代文字の^{とよくに}豊国文字を用いて解読されたのだ。そ
 の意味が次のものだった。

^{にえ}
 贅ささげまつりて
 降ることなき雨が降らめと
 水も飲まず
^{ひととき}
 一時なむも寝ずに
 夜昼となく海見晴らし
^{ちちかか} ^{たた}
 父母たちを讃えまつらく
^{くまの} ^{もろてぶね}
 熊野の諸手船の舵をとり
 我ら神さびつつ^{まわ}廻る・・・・・・

「贅=にへ」とは、もちろん生贅のことである。

つまり、イースター島のモアイ像は、雨が降らなくなってしまっ
 た島になんとかして雨を降らそうと天の神様に生贅を捧げ、祖先を
 まつろうと頑張って近郊の島々を諸手船ではせ参じたと書いてあっ

たのだ。こうして、高橋良典氏は、自分の考え方が正しいことを確信したのだ。

13.11.5 ミノア文明の線文字 A と線文字 B

地中海のミノア文明には、謎の線文字 A と線文字 B の問題がある。線文字 B は表音文字化していたため、西洋人の学者によって解読された。彼らは、ミノア文明の線文字 B の表音文字は、ギリシャ語だと考えた。西洋の学者の間では、そういうことになっている。しかし、線文字 B の使用は非常に少ない。しかしながら、その表音文字は音をつけると、日本語のあいうえおと完全に一致したのだ。



図 13.28 ミノア文明の線文字 B
<https://ja.wikipedia.org/wiki/線文字B>
 日本語に秘められた謎：「NWOvs 日本」と「超古代世界語は日本語だった！」
<https://quasimoto.exblog.jp/22083629/>

これは、海外の国々の古代遺跡は我が国からはるか遠くに離れているが、そこに書かれた超古代の未解読の文字は我が国の神代文字の一種だった、ということの意味なのだ。つまり、海外の未解読文字は日本の天皇の神代文字だということなのだ。線文字 A はこの考え方を補強した。

一方、線文字 A は未解読のままだった。ミノア文明の線文字 A は、以下のものである。これは、「クレタ島のファエストス宮殿か



図 13.29 ミノア文明の線文字 A
クレタ島のファエストス宮殿から出土した謎の円盤
高橋良典著/日本探検協会編「[超図解] 縄文
日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見
カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!!
(日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

ら出土した謎の円盤」に書かれた文字ということになっている。

13.11.6 ツタンカーメンの碑文を解読

高橋良典氏は、日本探検協会の面々とともにまずエジプトのヌブス王の碑文の解読に出かけた。そこで予想通り、見事にそれを解読する。

ここで、超古代アフリカ北部の岩窟文字が超古代の神代文字の応用で解読できたという事実を学ぶ。つまり、海外の超古代の岩窟文字は神代文字だと考えられるというわけだ。そして、この民族である「超古代黄色人種のクル族*74」が超古代エジプト文明を生み出したと考えたのだ。

これから、ミノワ線文字 A より先に超古代エジプトのツタンカーメンの碑文を解読に挑戦する。そして、見事に超古代エジプト文明のツタンカーメン (=トウトアंकアムン) の碑文を解読したのである。その結果が以下のものであった。この首かけ飾りの碑文の意味は以下のようなものだったのだ。

<頭上>

ひ ふ あむひ
日経る天日とともに出る

トウトアंकアムン

とわ
永遠にあれ

<翼右下>

誓ひ トウトアंकアムン

おんみめ
御身愛で 死したるのち

*74 あるいは、カラ族やコラ族。



図 13.30 ツタンカーメン (=トウトアंकアムン) の碑文
 高橋良典著/日本探検協会編「[超 図解] 縄文
 日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見
 カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!!
 (日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

あの世でも 朝な夕べに祈る

<翼左下>

ここに^{あるじ}主 ^{あまひまつ}天日奉りて

絵師 イシスの宮の

^{ひふ}日経る^{ふだ}札つくる

上の文章にある「^{ひふ}日経る」という表現は「^{ひふ}日経る民」を意味する。

このクル族がエジプトの次に居住することになった中東カナン
 の地の民となった。その民族が「^{ひふ}日経る」=「ひぶる (hibru)」=「へ
 ぶる (hebru)」→へぶりゅー (hebrew)、すなわちヘブライになった
 のだ。だから、古代ヘブライ語が「カタカナ=カナンの文字」と似

ているというわけだ。

つまり、ユダヤ人は2500年前の古代イスラエルから始まった。しかしながら、我々日本人はそれよりずっと以前の、超古代エジプト時代以前から超古代エジプト時代を経て古代イスラエルの時代につながったのだ。

だから、古代イスラエル失われた10支族の物語は、そこに残った新興ユダヤ人（アッシリアやバビロニアの支配下に落ち、混血して白人化した民族）の書いた歴史にすぎなかったのだ。日本人はさらに「東進」を続けた。

13.11.7 ミノア文明の線文字Aの解読

高橋良典氏は、この解読成功からさらに推測していく。クル族（＝カラ族）はその後地中海文明に移っていったと推定した。つまり、まだ白人種が地中海に至るようになるずっと前には、そこは黄色人種のクル族が先住民族として栄えていたのだと推測したのだ。

そして、そのクル族が地中海のクレタ島^{*75}ではミノア文明を築いていたと彼は考えた。つまり、ミノア文明を築いていたクル族は、日本の瀬戸内海のように当時の超古代時代の地中海で柑橘類などの栽培や漁業を主にしながら、ひとつの平和な文明圏を築いていたはずだと考えたのである。

それならば、その超古代文字である線文字Aは「日本語（＝クル族語）」でなければならない。高橋良典氏は、そう推測した。そして、超古代アイヌ文字（＝北海道異体文字）やトヨクニ（豊国）文字

*75 クレタ島とは「クル族の島」の意。



図 13.31 発見された最初のツタンカーメン(=トウトアムン)の顔
発掘された当時の化粧の落ちたトウトアムン(トト・テン・アメン)の顔は日本人の少年の顔そっくりだった。その後、金を張る過程で徐々にいまのエジプト人を模してメイクされた。いまどきの男子メイクのように、メイクすれば元の顔かとはまったく異なる顔を作ることができる。私の高校時代の顔とそっくりだ。
【個人メモ】私のアルバム 2020年04月26日;
<https://quasimoto3.exblog.jp/240267914/>

やカタカナ(=カナン文字)などを参考にしながら解読に成功したのだ。

その結果が以下のものである^{*76*77}。

^{*76} 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見 カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!! (日本発☆秘宝「超」発見) (ヒカルランド, 2012年). 208ページ

^{*77} 超古代ミステリー5:世界の謎の碑文は神代文字で読めるのだ! つまり日本



図 13.32 16歳の私の顔
私の高校時代の顔とそっくりだ
【個人メモ】私のアルバム 2020年04月26日;
<https://quasimoto3.exblog.jp/240267914/>

あるじ
主 うしはく (治める) エホバの民
主ヨセフうしはく 民^た発つは
神のかしこむ 父の民
エロハ民 (神の民)
牛はうケフチウ (クレタ) の^{みずほたみふな}罔象民船
エロハ民
牛はうケフチウ (クレタ) の^{みず}瑞しアジアの民
むる (海) をうしはく ヨセフ民
越すは^{かみたみ}神民
王のタムズ (穀物神の化身である王妃)

の悪のため
むざむざ死ぬる
タルハカウしはく民

こうして、高橋良典氏は、我が国の天皇の神代文字は日本国内だけのものだと思っていたのは間違いだったと初めて気づくのだ。

この中に「うしはく」という言葉があることが興味深い。なぜなら、これは近年になってやっと我々日本人が、天皇の「うしはく」統治と「しらす」統治の違いを知るようになったからだ。これらの言葉は日本人しか知らない概念だからだ。「うしはく」とは、上から下へ命令する権力統治のことだ。「しらす」とは、上が下へ知らせす権威統治のことだ。つまり、そこには「主君がエホバの民を絶対統治した」と書いてあったわけだ。

海外の超古代遺跡*78、古い遺跡ほど未解明である。なぜなら、超古代の遺跡に残された岩窟文字やヒエログリフが未解読だからだ。この理由は、未解明の岩窟文字が我が国の神代文字の一種だったからなのだ。神代文字を知らない西洋人にはまったく読むことすら出来ないのだ。

この事実から、彼は世界の超古代は日本の天皇が統治していたのではないかと考えるようになった。そして、世界中をこの観点から見直していくのだ。そして、最終的に「太古、日本の王は世界を治めた」、
「縄文人の縄文文明は日本だけのことではなく、全世界に拡がった超古代の先史文明だった」

*78 超古代という意味は、いまから数千年以上前のことを意味する。それ以後は古代という。

こういう考え方に発展していくのだ。

その何よりもの証拠がこれだったのだ。

13.11.8 ペドラ・ピンタダの謎の碑文の解読

ペドラ・ピンタダの謎の碑文というのをご存知だろうか？

これは、ブラジルの超古代遺跡から岩窟文字として発見されたものだ。この図形には見覚えがあるはずだ。そうだ。あのジョージ・

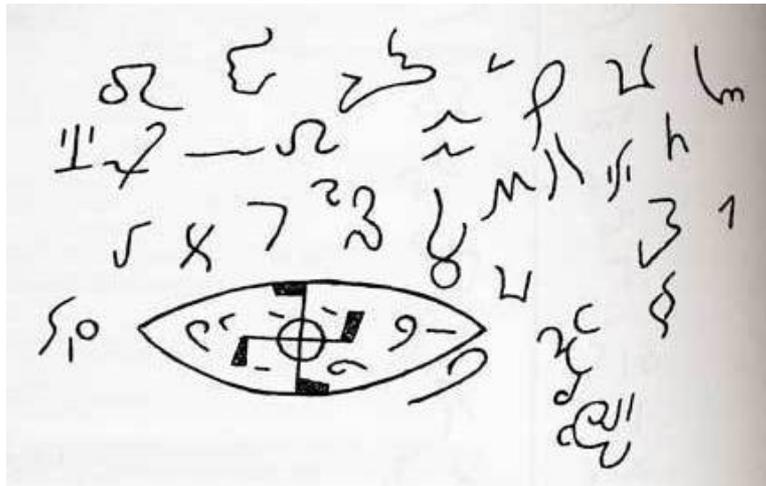


図 13.33 ブラジルのペドラ・ピンタダの謎の碑文
高橋良典著/日本探検協会編「[超図解] 縄文
日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見
カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!!
(日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

アダムスキーが会った金星人オーソンの足跡に残された未解明の謎の絵文字とそっくりなのだ。

高橋良典氏は、この岩窟文字をなんとかして解読しようと努力する。そこで役立ったのが、日本の古史古伝の記述だ。超古代の天皇

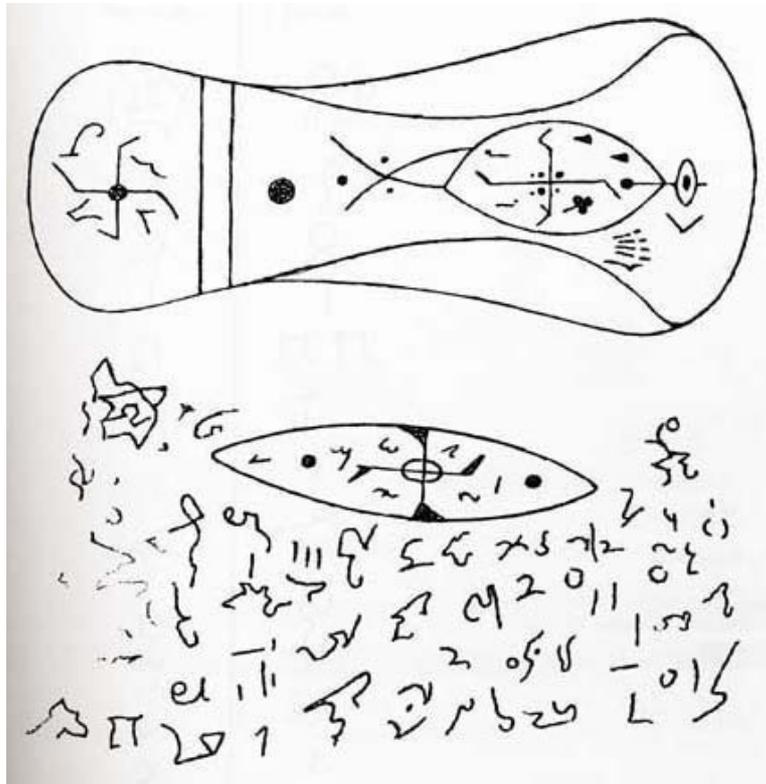


図 13.34 金星人オーソンの足跡に残された未解明の謎の絵文字
 高橋良典著/日本探検協会編「[超図解] 縄文
 日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見
 カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!!
 (日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

の系図である。岩窟文字、ヒエログリフ、絵文字、縄文模様、こう
 いったものはすべて一種の神代文字なのだ。だから、その時代をど
 の天皇が統治したかがわかれば、その天皇の時代の神代文字を使っ
 て読めるはずなのだ。神代文字に関する記述は日本にしか残されて
 いないのだ。

こうして、ついに高橋良典氏は、ペドラ・ピンタダの謎の碑文は、

我が国の神代文字の草文字、アヒル草文字で読めることを発見するのだ。こうして、ペドラ・ピンタダの謎の碑文は解読された。その



図 13.35 ア ヒ ル 草 文 字
 高橋良典著/日本探検協会編「[超 図 解] 縄文
 日本の宇宙文字」(徳間書店, 1995年)
 復刻版 高橋良典著「カラ族の文字でめざせ!世紀の大発見
 カラ族とは原日本人!太古の地球を平和に治めた神々だった!!
 (日本発☆秘宝「超」発見)」(ヒカルランド, 2012年)

文章は以下のような興味深いものだったのだ。

イサクとヨセフに船を降りる神を見よ。

イサク、ヨセフとともにこれを手厚く守れ

こうして、高橋良典氏は、次のように考えるようになった。

「縄文人の祖先は宇宙からきた民族だった」

「縄文人は宇宙船を持っていた」

こういう大きな流れの中で地球人類史を見なければならない。

この縄文人は世界の先史文明だったのだ。彼らは農耕民族だった。大麦や小麦の栽培をした。稲作を行った。狩猟採集民といっても海洋民族の魚や海藻の採集民族だった。

だから、縄文という命名が誤解を生む間違った命名と言えるのだ。むしろ、正しくは「カラ族」や「クル族」や「コラ族」と呼ぶべきなのだ。おそらく、この発音は言語が日本語と同じだ。だから、「カラ」は「天から」、「クル」は「天から来る」、「コラ」は「天の子ら」というようなところから来たのだろう。私は、そう推測する。つまり、彼らは「宇宙から降り立った民族」だったのだ。西洋人のゼカリア・シッチン博士の呼び方なら、「天から降り立った民族」は「アヌンナキ」になるわけだ。しかし、アヌンナキはニビルの子孫だ。したがって、クル族はニビルの子孫。日本人はそのクル族の子孫。つまり、天孫降臨の民族なのだ。

一方、白人種はアヌンナキの王族の家来だったイギギの反逆者の子孫なのだ。したがって、日本の縄文人は西洋白人種とはまったく異なったのだ。

13.11.9 高橋良典氏の地球人類史

このように、西洋人がまだ未解決とか、彼らには謎とかいうもののがかなり多くは、すでに日本人の手によって解決済みなのだ。まあ、知らぬが仏。なぜなら、この地球上の全世界は、西洋白人種

(=アーリア人) がアジア人の黄色人種から別れ出る前の世界が描かれているからだ。

つまり、最初は地球のありとあらゆる場所にはアジア人が住んでいた。それが、約 3000 年前になってはじめて西洋白人種がこの地球上をすべて奴隷化しようと帝国主義なるものを発明した。この源流が超古代アッシリアである。ここから地球の歴史、西洋の歴史のすべてが始まったのだ。

超古代文字を日本の神代文字で解読していく。すると、だれもがごく自然とそういう結論に導かれる。当たり前と言えば当たり前だが、こういう歴史観はまだ西洋の正史にも東洋の正史にもなっていない。だから、こういう考え方はだれも知る由もない。

いわゆる白人種は、2 万年ほど前に東洋人から別れた。この事実はすでに Y 遺伝子研究で解っている。その場所はやはりウラル地方コーカサス地方であろう。すくなくとも、アフォントヴァゴラ遺跡の場所の付近だったのだ。そこが、まさにコーカソイドの源流の地である。そこから全世界を蹂躪する歴史が始まった。

彼ら白人種にとって、歴史とは「白人 (=アーリア人) の歴史」という意味にすぎない。彼らは外の民族支配すると、その民族が持つ文明や文字や碑文はすべて破壊していった。だから、大半のものは残っていない。

この手法はいま現在にも生きている。このアーリア人と東洋人の混血が古代漢民族であった。それがトゥルク、秦、唐と変遷したにすぎない。彼らは、時代が発つに連れ、見かけが東洋人化したのだ。しかし、彼らの脳構造はアーリア人そのものなのだ。事実、これが中国人や韓国人の DNA に残された。彼らの多くは、日本人のハプロタイプ C や D よりずっとあとに出来たハプロタイプ O に属する

のだ。中東人はハプロタイプ H や I や J だ。

例えば、朝鮮族は「アリアン」と歌う。この理由は、彼らの DNA の中に「古代アーリア人へのあこがれ」のような気持ちが残っているからであろう。

そんなわけで、高橋良典氏の研究によって分かってきたこととは何だろうか？

それは、日本の古事記や日本書紀の神話の時期と我が国に残されてきた数々の神代文字の年代が見事に符合するということなのだ。言い換えれば、古事記日本書紀の神話は、神話ではなく実話だったということなのだ。

古事記日本書紀以前のずっと昔の日本人 (=クル族) の記憶は、神話という形で遺された。そして、そのそれぞれの神話の時代に対応する年代にそれぞれの「神代文字」が存在したのだ。高橋良典氏や協力者たちの努力により、こういうことが事実だと分かってきたのだ。

簡単に大雑把に言えば、日本人 (=クル族) はエジプトからずっと日本まで東進の歴史を続けた非常に古い民族であった。だから、超超古代の古い神代文字ほど古い時代の記憶を語っているということになる。

- ・クル族は最初アフリカ中西部から始まった。
- ・そして、アフリカ北西部へと進み、超古代エジプト王になった。
- ・それから超古代メソポタミア文明と超古代地中海文明の主役となった。
- ・そして超古代のパキスタンとインドで、超古代インダス文明の主役となった。
- ・インドではクル族から仏陀が誕生。仏教の祖となった。

- ・ヒマラヤの北では、超古代のチベット文明の主演となった。
- ・アジア大陸では、超古代^か夏王朝の祖となった。
- ・中国では超古代の漢字の祖となった。
- ・そこからウイグル、キリギスタン、契丹の祖となった。
- ・そして朝鮮半島では、超古代高句麗の祖となった。
- ・そして最後に九州に来て、倭国の祖。そして大和朝廷の祖となった。

こういう歴史的流れである。

13.11.10 遺伝子ドライブ

はたして、このシナリオが事実なのだろうか？

この理由は、それぞれの場所の超古代の石碑や神様の像などの顔形を見れば一目瞭然である。超古代エジプト王、超古代インダス文明の王、超古代の仏像（アフガン）、超古代の中国の王様、超古代の高句麗の王様などなど、ありとあらゆる場所の巨大像の顔形が我々日本人とそっくり、瓜二つだからだ。

また、前に見た西洋の学者によって研究された、金髪碧眼種の誕生の研究により明らかにされた歴史を見れば解るだろう。この高橋良典氏の人類史と金髪碧眼種の誕生の歴史はほぼ同一だからだ。

しかしながら、西洋白人には、その中身が理解できない。なぜなら、彼らはその歴史が自分たちの祖先につながる歴史だと錯覚しているからだ。それは全くの彼らの誤解なのだ。

彼らの歴史はいま我が国で見ると同じだ。つまり、白人種と他の民族が結婚し子を作ると、子から先が白人種に変化するのだ。たとえば、日本人と白人と結婚すれば、子はハーフになる。ほとんど

見た目は白人だ。日本人の特徴が消えるのだ。

この現象は、現代の分子生物遺伝学では、「遺伝子ドライブ」*⁷⁹という*⁸⁰。この概念はごく近年に初めて分かってきたものだ。彼ら

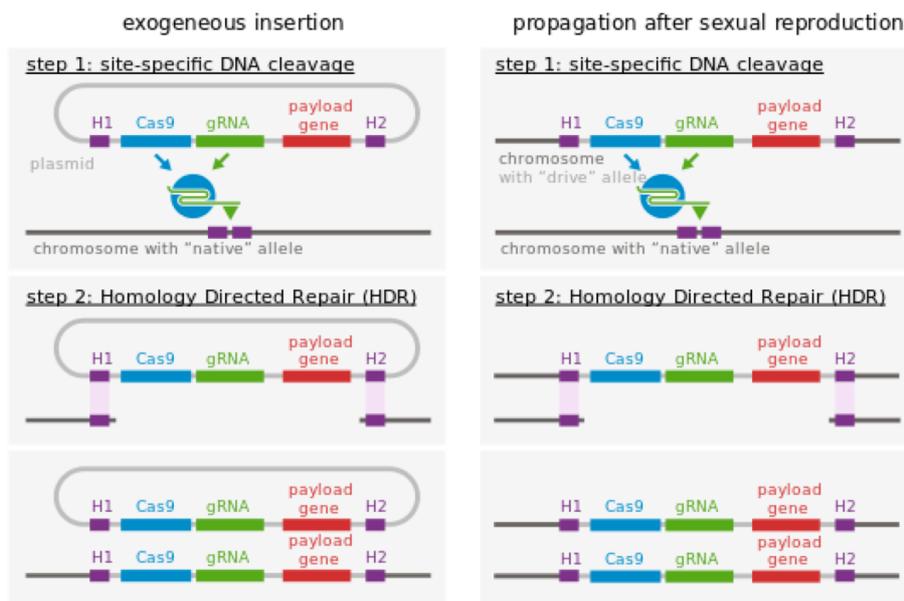


図 13.36 遺伝子ドライブの仕組み
<https://ja.wikipedia.org/wiki/遺伝子ドライブ>

白人種の DNA には他の民族の遺伝子を乗っ取る機能が含まれているということなのだ。つまり、白人の遺伝子には遺伝子ドライブがある。彼らの遺伝子は、メンデルの遺伝の法則に従わないのだ。実は人間にはたくさんのメンデルの法則に従わない遺伝子が発見され

*⁷⁹ <https://ja.wikipedia.org/wiki/遺伝子ドライブ>.

*⁸⁰ 【バイオハザード】武漢コロナウイルスの急展開→人工ウイルスの証拠発見、特効薬発見、そして悪魔の RNA ワクチン登場間近！？ ; <https://quasimoto3.exblog.jp/240026759/>.

ている*81。

昔は白人種は血が濃いと考えられた。なぜなら、寒い地方やヒマラヤの高地の狭い地方で長年過ごしたからだと考えられた。しかし、そうではなく、遺伝子に未知の機能が移植されているのだ。そう考えた方が自然なのだ。

13.11.11 超古代核戦争

ところで、ここでいう「超古代」とは「約2万5千年程度前から3000年前～数千年前」という意味である。「古代」というのが約3000年前～数千年前のこととして話をしている。

今から3000年前～数千年前から2700年前の間に、何か「核戦争」のようなことがあったのだ。そこから全世界に激動の時代に入ったようなのだ。同時にアリア人が全世界を攻撃した始めたのだ。そういう証拠が数多く残されているのだ。インドのマハーバーラタ、シッチン博士のシュメール文明やメソポタミア研究などがそういうものだ。一番わかり易い例は、サウジアラビア半島にあるルブアルハリ砂漠がなぜできたのか？ というものだ。そこには無数のガラスの破片やガラス化した砂が出る。これを集めて古代アラブ人がガラス製品を生み出したのだ。

13.11.12 天の浮舟

次の問題はこれなのだ。

*81 大野乾著「続 大いなる仮説—5.4 億年前の進化のビッグバン」(羊土社, 1996年).

超古代のクル族こと日本人が「天の浮舟」という「天駆ける船」*82、すなわち「空飛ぶ円盤」を持っていたのか？

実は、これが本当の失われたアークの本当の意味なのだ。この地球上のどこかに超古代の空を飛んだはずの UFO が眠っている。

ニコラ・テスラのアーク放電のように、アークとは本来「雷電」のこと、放電現象の意味である。だからアーク放電という言い方がなされるのである。モーゼの十戒は雷電によって書かれた。だからアークというが、十戒よりアークの方が大事なのだ。何ものが雷電を撃ったのかということだからなのだ。

ここに初めて、米軍の秘密組織の SSP のメンバーの話とのつながりが出てくるのだ。一見、まったく無関係にみえた線と点が対応することになる。これは、高橋良典氏が研究し始めた 1970 年代、1980 年代、そして執筆しはじめた 1990 年代にはまったく知られていないことだった。ましてや矢追純一氏の時代には全く出てきていない極秘の話だったのだ。

13.12 縄文 v s 白人

13.12.1 ヒトゲノム全遺伝子解読とショットガン法

明治維新の頃は、我が国の文部省の教育カリキュラムは、大英帝国海軍による自虐史観計画のアジェンダに従って変えられた。太平洋戦争後、我が国の文部省の教育カリキュラムは、米国 GHQ による自虐史観計画のアジェンダに従って変えられた。そうせざるを得なかった。しかしながら、我が国の本当の歴史はそうやって教えら

*82 「高麗かけ」ともいう

れてきたものとは全く違うのだ。日本は、この地球上の世界史の中でもっとも主流に位置づけられるべき国家である。日本人は、この地球上の世界史の中でもっとも主流に位置づけられるべき人種である。これは世界の非常識のままなのだ。

21世紀に入って DNA 研究が容易になってきた。いまやどんなド素人でも PCR 検査を知っている。そのようになるとは流石に私自身も予想しなかった。

ところで、PCR の発明は、20世紀後半アメリカ人の生物学者キャリー・マリス^{*83}が発明したものだ。彼はもともとカリフォルニアのサーファーだった。

また、ヒトゲノム全遺伝子解読は、ユタ州出身のクレイグ・ヴェンター博士^{*84}が行ったものだ^{*85}。彼は政府がやらないなら自分でやるといって自分の会社を立ち上げたのだ。自分で DNA 解析の民間企業をつくってその社長になり、ヒトゲノム全遺伝子解読に挑戦したのだ。彼は、PCR 装置を何百台、何千台と買って揃えたのだ。当時はまだ PCR 装置はできたばかりで値段が非常に高かった。1台1億円程度がかかったのだ。彼は1000台ほど集めた。

しかし、この PCR 装置をいくら集めてもそれだけでは遺伝子の全解読は出来ない。なぜなら、彼の解読法は彼自身が発明した遺伝子解読法である「ショットガン法」だったからだ。

このショットガン法では、膨大な染色体を無数の小さな DNA の

^{*83} Kary Banks Mullis, 1944 年 12 月 28 日 - 2019 年 8 月 7 日;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/キャリー・マリス>.

^{*84} John Craig Venter, 1946 年 10 月 14 日 - ;
<https://ja.wikipedia.org/wiki/クレイグ・ヴェンター>.

^{*85} クレイグ・ベンター著「ヒトゲノムを解読した男」(化学同人, 2008年).

断片ににする。バラバラにした断片をそれぞれの PCR 装置で個別に解析する。そうやって、その短い断片の遺伝子配列を得るのだ*86。だから、これだけでは無数の断片に別れた染色体の遺伝子の配列が解るだけに終わる。

そこで、ショットガン法の決めては、これらの断片のデータを一旦全部スーパーコンピュータに入れる。つまり、実際の DNA のアナログデータをスーパーコンピュータ内のデジタルデータに変えておくのだ。それから、スーパーコンピュータ内のプログラム AI に自動的にそれらの無数の断片をつながせるのだ。昔のように人間が行えば、何年もかかる。それが、一瞬で解析できるのだ。だから、PCR で得られた膨大なデータの処理を行うためにはスーパーコンピュータが必要だった。

しかしながら、スーパーコンピュータはきわめて値段が高い。だから、大学の研究者は個人では決してそれを買うことが出来なかった。彼らはチームを組んで、国立の研究所のスーパーコンピュータで全解読を行うしかなかったのだ。だから、大学チームは国際的になった。しかし遅々として研究は遅れたのだ。

そこに、ヴェンター博士が、ヒトゲノムの全解読の終了を宣言したのだ。慌てた大学チームは必死で後追いついた。こうして、2003年にヴェンターチームと大学チームがヒトゲノムの完了を公表したのだ。

その当時、和光の理化学研究所にはそんなに多くの PCR 装置がなかった。だから、日本チームは、国際チームのうちのごく一部を受け持ったにすぎない。これですべてを分かったかのようにいうの

*86 いまの新型コロナウイルスの陽性判定はこの原理を使うのだ。

は、お笑い草だ。何事も、自分で全部やるのと、その一部をやるのとでは、雲泥の違いがあるのだ。

ハリウッド映画のジュラシックパークに出てくる生物学者を覚えているだろうか？

クレイグ・ヴェンター博士はジュラシックパークに出てきそうな典型的な白人起業家研究者だ。彼にはそんなイメージがある。彼は、他の大学のリーダーやノーベル賞学者たちに対してこういった。「無能な奴ら」「税金の無駄野郎たち」。有名大学や国立研究所の超一流の学者をそうやって名指しの非難をする。彼はそういういわくつきの研究者である。この点、マリス博士と似ている。

クレイグ・ヴェンター博士はすでに人種の秘密や生命の秘密を解明し、人工生命をすでに作り上げた。彼はそう言われている男だ。むろん、まだその事実は秘密にされている。

はたして、人種がどのようにできたのか？

人類はどのように変化したのか？

どの人種がもっとも進化しているか？

したがって、クレイグ・ヴェンター博士はこのデータを研究したとしよう。そうだとすれば、彼にはこういったいわくつきの微妙な問題がすべてわかっているのだ。

13.12.2 日本人が一番古い人種

その結果はどうなるだろうか？

実は我々日本人がもっとも古く、最も重要な人種であるということが分かるはずなのだ。これが私が大分前から考えてきたことなのだ。

「歴史戦」という中韓や欧米白人のプロパガンダのせいで、我が国の歴史はひどく捻じ曲げられてきた。ちょっと前、ほんの10年前でもそういうことをメモすれば、陰謀論だ、池沼だ、キチガイだ、ネトウヨだとか言われたものだ。しかし、いまや航空自衛官がUFOを証言できる時代になったわけだ。いまや英国の新国王のハレット王まで、ワクチンのマイクロチップを知っている。私は隔世の感を得るのだ。そういう理由から、若い YouTuber や Vblog などの作者にもたくさんのそういう自虐史観から目覚めた人たちが出てきている。

13.12.3 白人が縄文人を殺す歴史の始まり

1492年にイタリア人のクリストファー・コロンブス^{*87}は新大陸を発見した。彼はその地はインドだと勘違いした。だから、そこにいた現地人を「インド人」(インディオ)と呼んだ。その後に来た英米人はそれを英語風のインディアンと変えた。

現地人はアジア人風だった。彼らは非常に親切で友好的だった。だから、彼らはコロンブス一行に興味を示した。なぜなら、コロンブス一行は、はるばる遠くの西洋からきた言葉のわからない顔貌の全く違う西洋白人種だったからだ。現地人は西洋白人を手厚く歓待した。そして、さまざまの協力を行った。食料や燃料になる物資を無償で差し上げた。自分たちの宝や風物を土産にやった。

最初は、安っぽいガラスと金銀とを交換した。コロンブスたちは平和な白人のイメージで彼ら現地人を騙したのだ。そうして、コロ

^{*87} 1451年ごろ - 1506年5月20日; <https://ja.wikipedia.org/wiki/クリストファー・コロンブス>

ンブス一行が一回目の探検を終えた。

しかし、次からは西洋のコロンブス一行はアメリカの植民地支配に切り替えた。今度は、武器弾薬を満載し、軍人と一緒にやってきた。彼らは金銀財宝を集めにやってきたのだ。最初は前と同じように平和的に交流した。だから、平和的で有効的な彼らインディオは、彼らが超古代からの金を持っていることを西洋白人種に教えた。すると、コロンブスは部下に命じて、彼らを捕まえた。そして、軍隊の武力でインディオ族の王様を拷問し、金銀の在り処を白状させた。彼らインディオからすべての金銀財宝を奪い去った。女や女子はレイプされ性玩具にされた。男という男は子供まで虐殺されたのだ。こうして、ポルトガル人や西洋白人によるインディアンに対する虐殺の歴史が始まった。だから、白人支配の場所には、元の原種の人類は残らない。こういう歴史が残された。

そして、それからわずか284年ほどの間にアメリカは西洋白人種のものになったのだ。これがアメリカ合衆国の独立であった。1774年7月4日のことだ。しかしながら、西洋社会では、クリストファー・コロンブスが発見した1492年から、もうアメリカ大陸は自分たちのものだ勝手に地図に書き入れたのだ。現地人のことなど一切無関係だ。この感性が白人特有の感性なのだ。

これが、この地球上の至るところで、超古代から古代への変遷のさなかで起こった出来事なのだ。こういう歴史は、その昔に5000年前に古代エジプトやメソポタミヤで起こったことだ。そしてそれは、4000年前～3000年前にインドや中国で起こったことだ。アメリカの歴史は、それと同じことが500年前に北中南米で起こったにすぎない。同じことが、400年前にまたインドやインドネシアで繰り返されたにすぎない。歴史は何度も繰り返される



図 13.37 クリストファー・コロンプス
<https://ja.wikipedia.org/wiki/クリストファー・コロンプス>

のだ。

そして、平成時代になり、我が国で、いまこれと全く同じことが起こりつつあるのだ。これが真実の流れなのだ。つまり、この地球の有史とは、後から来た白人が前からいた縄文人を駆逐する歴史のことだったのだ。これが、いま我々の知る地球の真の歴史なのだ。

13.12.4 アメリカ先住民のタイノ族

ところで、アメリカの先住民にタイノ族という種族がいることを知っているだろうか？

彼らタイノ族こそ、コロンプスが島々で最初に出会ったアメリカ

の先住民だったのだ*88。このタイノ族は気質が日本人と非常によく似ている。まさに縄文人そのものである。彼らは日本人と同じ太陽崇拝である。



図 13.38 アメリカ先住民のタイノ族
<https://ja.wikipedia.org/wiki/タイノ族>

ウィキペディアの説明を見てみよう。そこには次のように書かれている。

タイノ族 (Taíno) は、アラワク族語系に属するキューバ、イスパニョーラ島 (ハイチとドミニカ共和国)、プエルトリコ、そしてジャマイカを含む大アンティル諸島とバハマ諸島の、クリストファー・コロンブス到着以前から先住するインディアン部族である。南アメリカのアラワク族が航海してきたものと見られる。タイノ語 (英語版) を話した。

*88 タイノの意味は、太陽の、陽のという意味かもしれない。

最近の調査結果では、タイノ族はアンデスの部族、特にコラ族（英語版、スペイン語版）（Collas）から派生している可能性を示している。彼らの言語は南アメリカからカリブ海までの、かなり広範囲にわたって使用されたアラワク語族である。1492年のコロンブスの到着時には、イスパニョーラ島には5つのタイノ族の王国があり、それらは酋長に率いられていた。スペイン占領時には、タイノ族の人口は最大で3000人もいた。タイノ族は、小アンティル諸島に住んでいたインディアンのカリブ族と敵対していた。ふたつの部族の関係は今後も研究の余地がある。

キューバのタイノの村の再現 18世紀には、スペイン人によるプランテーションでの使役や疫病により、タイノ族の社会はおそらく絶滅した。19世紀には、キューバで生き残ったいくつかのインディアンの集落と同様に、かなりのメスティーソ化（混血化）が進んだ。1492年に到着したスペイン人たちは、当初女性を連れて来なかったためである。彼らはタイノ族の妻を取り、そしてメスティーソの子供ができた。アメリカ東海岸部にも奴隷として多数のタイノ族が連行された歴史を持ち、ニュージャージー州ではタイノ族の共同体がアメリカ連邦政府に、公式な「インディアン部族」としての認定を求め続けている。

このウィキペディアの説明にもあるように、タイノ族はアンデスのコラ族だったのだ。

やはり予想通り、ここにも、いわゆる縄文人を指す、カラ、キリ、キル、クル、クレ、クロ、ケリ、ケル、コラ、コリ、コロ、。。の音

の響きの名前を持つ民族がいる。つまり、子音表記では、cr, cl, kr, kl, chr, chl, ... のような発音の地名や民族名が残るのだ。これが探検家高橋良典さんの発見だった。

アンデスのインディオ、インカ^{*89}のインディオ、北米のインディアンのナバホ^{*90}、。。。こういった種族と日本人の DNA には非常に共通部分が多いのだ。事実インカの原住民ので遺伝子 DNA の研究を行うと、日本人と非常に共通の DNA が見つかるのだ^{*91}。さらに、インカには、「インカ帝国の最初の王は日本から来た」という伝説まであるのだ^{*92}。

13.12.5 縄文人の特質と白人の特質

インディアン嘘つかない。

これは、「インディアンは正直者だ」を意味するセリフの代表だ。これは、一昔前のアメリカの西部劇のインディアンのセリフによく登場した。

一方、いま現在では、海外からの我が国への旅行者が思うことは、日本人は嘘つかない。日本人は優しい。日本人は親切だ。日本人は盗まない。日本人は信用できる。日本人はいつも笑顔だ。このようによく言われる。

西洋の白人にとって、嘘つかない、嘘つけない、優しい、親切、

*89 殷家と書けそうだ。

*90 縄穂と書けそうだ。

*91 インカ帝国をつくったのは縄文人の末裔～このトンでも説に、これだけの証拠が残っている。;
<https://magokun.hatenablog.jp/entry/2019/10/31/005722>.

*92 インカ帝国は日本人が作った; <https://www.youtube.com/watch?v=c0ZPt4LQ5ZU>.

盗まない、信用できる、いつも笑顔というのは、馬鹿の代名詞なのだ。事実、ロシア人には笑顔はご法度だ。ロシアの白人にとって、笑顔は知能の低さ、つまり、バカを意味するのだ。だから、笑顔のやつは襲われる。だから、ロシアの大統領はいつも厳しいしかめっ面だ。そうしないと国民から馬鹿だと見なされるのだ。

日本ではいま菅義偉首相がそれを使っている。彼には笑顔が出ない。なぜなら、父親が大陸満州出身の帰還者だからだ。

しかしながら、縄文文明は何万年もの間を平和に維持できた。そのためには、そういう嘘つかないという特質があったればこそだったのだ。宇宙ステーションの中で互いに喧嘩しあったらどうなるか言うまでもないだろう。

日本人にはこの特質がいまもある。西洋白人種は、それを逆にガラパゴス的面白さだと思ってからかいに来るのだ。それがいまの白人旅行者である。日本国内でわざと財布を落とし、日本人の反応を見て楽しむ。奈良公園の鹿をわざとじらせて喜ぶのと同じ趣向だ。これが白人種の特質なのだ。

13.12.6 縄文人の脳と心と白人の脳と心

どうしてこのような性質の違いが生まれるのだろうか？

どうして頭の使い方がこんなにも違うのだろうか？

いまこの縄文人の心の特徴と白人の心の特徴の差を私は問題にしているのだ。折角の機会だから、この問題に触れておこう。

ところで、我が国の数学者岡潔博士^{*93}は知っているだろうか？

^{*93} おかきよし、1901年(明治34年)4月19日 - 1978年(昭和53年)3月1日; <https://ja.wikipedia.org/wiki/岡潔>.

当然、ご存知に違いない。本書でも第8章8.4で取り上げている。では、岡潔博士の脳と心の理論はご存知だろうか？

岡潔博士は1960年代から1970年代にすでにこのテーマを現代脳科学の知識を用いて見事に説明していたのだ。

彼は、自分の息子が生まれた頃に息子を通じて、子供の脳と心の発達を観察した。次に彼は、自分の孫が生まれた頃、また再び子供の脳と心の発達を観察したのだ。彼はそれらの観察経験を基にしたのだ。そうやって自分の脳理論を構築した。晩年彼はそれに確信を持ったのだ。

彼が50歳になり学士院賞を受賞した。それから彼はたくさんの本を矢継ぎ早に出版した。それに応じてたくさんの賞を受賞する。そうするとさらに本の執筆依頼や講演依頼が届く。そうして彼の晩年になった。72歳になり勲一等瑞宝章を受賞した。

その間に岡潔先生は日本全国のさまざまな講演会に出かけたのだ。そこで自分のさまざまな経験や考え方を聴衆の日本人の前で語ったのだ。

そんな中に、ちょうどこの心の問題、脳の問題を語ったのだ。いくつかの大事な講演がある。

- ・「^{じょう}情と日本」*94
- ・「2つの心」*95
- ・「一滴の涙」*96

*94 岡潔 「^{じょう}情と日本人」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-japanese00.html>.

*95 岡潔 「2つの心」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-futatsuno00.html>.

*96 岡潔 「一滴の涙」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka->

- ・「大脳生理」*97
- ・「心そのもの、命そのもの」*98
- ・「^{えいじ}嬰兒に学ぶ」*99。
- ・「情の発見」*100。
- ・「情を語る」*101。
- ・「情の世界」*102。
- ・「情の構造」*103。
- ・「真我への目覚め」*104。

岡潔博士は、この一番初期の講演ですでにその問題の核心を突いたのだ。それがこの絵に現れている。

近年の大脳生理学によれば、人には「2つの心」が存在するのだ。それが岡潔博士の時代にわかっていた。

どうして西洋白人と日本人とで考え方が違うか？

これを簡単に言うと、西洋人には心が1つしかないが、日本人には心が2つある。そういう違いなのだ。

itteki00.html.

*97 岡潔 「岡の大脳生理」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/okadainou00.html>.

*98 岡潔 「心そのもの、命そのもの」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-14-00.html>.

*99 岡潔 「^{えいじ}嬰兒に学ぶ」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-16-00.html>.

*100 岡潔 「情の発見」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-24-00.html>.

*101 岡潔 「情を語る」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-25-00.html>.

*102 岡潔 「情の世界」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-26-00.html>.

*103 岡潔 「情の構造」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-27-00.html>.

*104 岡潔 「真我への目覚め」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-28-00.html>.

脳の略図と2つの念の経路

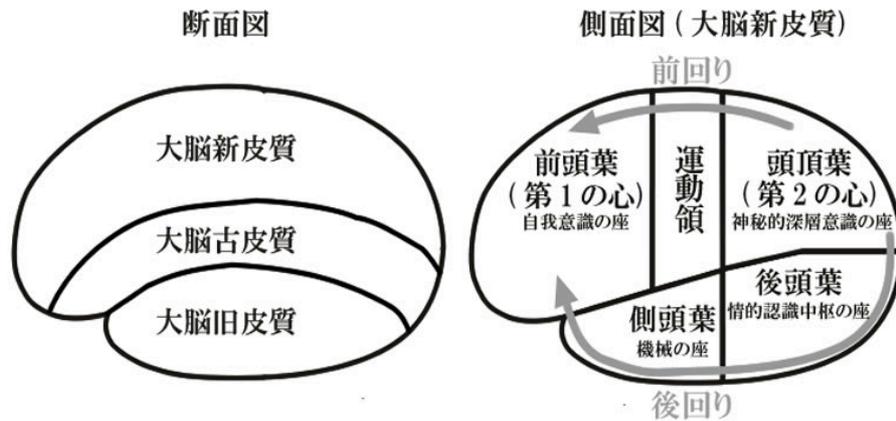


図 13.39 脳の略図と2つの念の経路
岡潔「2つの心」の解説; <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-futatsuno00.html>.

まず「第一の心」とは「大脳に宿る心」のことだ。「第二の心」とは「頭頂葉に宿る心」のことだ。

西洋白人種は前頭葉が非常に発達している。そのせいで、人間の心とは、前頭葉の心、すなわち「思考」のことだと思っているのだ。それ以外に人間の心は存在しないと考えている。だから、白人が持つ心は、「第一の心」のみの「1つの心」だと結論できるのだ。

一方、日本人は前頭葉はそれほど発達していないが、ほどほどには発達している。同時に、日本人は頭頂葉がほどほどに発達しているのだ。これが一般の大脳生理学では無視されているのだ。だから、日本人は「第一の心」と「第二の心」を同時に持っている。つまり、日本人には「2つの心」があるのだ。

では、この違いが何を生むのか？

前頭葉は、いわばスイッチを入れないとかからないラジオのよう

なものだ。だから、オンオフで心が出たり消えたりする。これが第一の心の特徴だ。ロジックは働かせない限り働かない。だから、西洋人はそれを鍛えようとする。

ところが、頭頂葉は無意識下の心だ。それは、その人が生きて以上、生まれてからずっと働き続ける。眠っている時も起きている時も働き続ける。

それは何のためにあるのか？

それがいわゆる「無償の愛」の発露なのだ。あなた自身は、あなたが脳を働かせようしまいが、自分自身を認知し、維持しようとしている。常にあなたの心は、自分で意識しようがしまいが、自分を良くしようとしているのだ。これが「第二の心」のことだ。実はこれがあなた自身の存在の発露なのだ。

つまり、「私」と語るべき存在の根源だ。英語なら「I」の場所だ。この頭頂葉には、そういう言葉はない。そういう意味は持たない。とにかくそれがある。

それが前回りして前頭葉へ行くと、「私」とか「I」とかがつくのだ。だから、ラジオのスイッチなのだ。「I」と言った瞬間に前頭葉ラジオのスイッチが入る。これが白人の脳みそだ。

白人が運動をする場合、まず頭頂葉に信号を送る。これが「わたし」というイメージの主体だ。そこから脳の上を前回りして運動領へ行く。運動をすでに起こす。そこを通過し前頭葉へ行く。その瞬間に「I」のスイッチが入る (S)。そして前頭葉で思考を行う。何をするか命令が決まる (O)。そしてその思考を基にまた元へバックし、運動領へ戻る。命令に応じて運動する (V)。そうやって行動を起こすのだ (SVO)。

だから、思考して動く場合、0.5秒かかる。サッカーの GK は考

えると動き出しが0.5秒遅れるのだ。白人には、これしかないのだ。だから、とにかく、I am～、I love～、I need～、I think～、I run～、I want～、... とI、I、I、... となるのだ。それ以外にできない。だから、白人には心が1つしか現れないのだ。

日本人は、これまでの文化、歴史、宗教、言語、経験などさまざまの蓄積がある。それから、日本人は「第二の心」のことを理解してきた。特に、日本語を使う場合、かならず神経伝達の経路は、「第二の心」を通過する経路になるのだ。なぜなら、日本語は動詞が最後だからだ。また、日本人は農耕民だったために、必ず「第二の心」、頭頂葉を経由するのだ。

日本人の場合は、考える場合と運動の場合の2つができる。

考える場合は神経伝達はまず頭頂葉へ行く。これが「わたし」の発露だ。日本人はそれからすぐに運動量へ行かない。なぜなら、先に目的語(O)が先だ。そこでいろいろの状況や言葉を側頭葉を通じて知る。そのため、後ろ向きに後頭葉へ行く。そこで、さまざまのイメージを思い出すのだ。過去の記憶だ。そして、さらに下を前回りし両側の側頭葉へ行く。そこで後頭葉で得たイメージから側頭葉で対応した言葉や行動の具体化を行う。そして最後に前頭葉へ行く。最後に前頭葉スイッチが入るのだ。

だから、主語が最後になる。主語が消えても全く問題ない。運動する場合は、白人同様に動く。だから、日本人は前頭葉の論理の「第一の心」と頭頂葉の「第二の心」の存在をおぼろげに感じながら生きているのだ。

この第二の心は「存在を認める心」なのだ。生きている事自体を認めてこそ、嬉しいのだ。だから、理屈なく笑顔が出るわけだ。だから、縄文人や日本人は普段笑顔で生きている。理由はない。

しかし、白人にはそれが不気味に見える。あるいは、彼らには馬鹿に見える。非常に奇妙に見えるのだ。なぜなら、白人は前頭葉のスイッチのついてない状態で笑えない。つまり、彼らは何の理屈もないのに笑うことなど出来ないからだ。

これが縄文人と白人の脳と心の働きや機能の違いなのだ。これは言語や遺伝や脳構造に基づく。だから、変えようはない。白人に生まれたら最後なのだ。日本人にはなれない。それは、たとえ日本語が話せたり、日本人以上に理解したとしても不可能なのだ。

むろん、その逆もそうだ。日本人や縄文人は白人にはなれないのだ。いくら流暢に英語を話せようが、決して同じにはならない。それほど脳構造の違いが大きいのだ。

つまり、縄文人から白人が誕生した25000年ほど前に、白人は縄文人の2つの心のうちから1つを失ったのだ。

問題は、その第二の心の場所こそ、超能力の場所、テレパシーの場所、宇宙と繋がる場所だったということなのだ。ここを通じないと宇宙人と理解し合えないのだ。

ただし、白人の場合にも可能性がある。それは、前頭葉を停止させる方法だ。この場合、思考を停止する。何も考えない。これが瞑想だ。だから、白人種、インドヨーロッパ語族は瞑想した場合のみ、第二の心が開かれるチャンスがある。

しかしながら、日本人は日常の同じ生活を行っていたとしても、常に第二の心を感じることができるのだ。この違いが、農家の達人、茶道の先生、弓道の達人、剣道の達人、合気道の師範、仏教の高僧、こういう何かの達人で「先生」と呼ばれるような人が日本にしか生まれえない一番の理由なのだ。

岡潔博士は晩年にこういう内容を何とかして西洋人に伝えようと

した。しかしながら、それは失敗だった。彼らからは全く理解されなかったのだ。

13.12.7 縄文人の竪穴式住居

ところで、我が国の竪穴式住居を見たことがあるだろうか？
それは、だいたい次のような形の住居である。



図 13.40 兵庫県神河町の福本遺跡の竪穴式住居
<http://kntryk.blog.fc2.com/blog-entry-1278.html>

これらの我が国の古代遺跡の竪穴式住居とアメリカ先住民のタイノ族の住居を比較したらどうだろうか？

誰が見てもそっくりに見えるだろう。共に、出入口が1つで、三角円錐の藁葺き屋根だ。つまり、縄文の縄とは、農産物の稲や麦やイグサやなどの植物の茎や葉を乾燥させてワラのことだ。だから、我が国では「藁葺き屋根」と呼んできた。これが、西洋白人のモースには縄に見えたというわけだ。だから、東北や新潟や兵庫など日本全国にある昔の住居 (竪穴式古墳などにある竪穴式住居) は、



図 13.41 三内丸山遺跡の竪穴式住居
<https://thegate12.com/jp/spot/957>

カリブ海の先住民や南米の先住民や北米の先住民の住居と非常に似ているわけだ。

13.12.8 南米アマゾンの先住民の竪穴式住居

ところで、南米アマゾンの先住民を知っているだろうか？

南米アマゾン先住民(裸族)は、500年前から西洋白人種による侵略を受けてきた。それで、インカ帝国やマヤ文明が滅亡した後、南米アマゾンの熱帯雨林の中へ逃げ延びて、なんとか現在まで生き伸びてきた。それが、また今度はその後の数百年で混血した新種族の南米現代人により発見された。

そんな南米先住民の家は見たことがあるだろうか？

エル・ドラドの住居、アマゾンの先住民の住居とはこんなものなのだ。内部は1部屋で、土間である。アマゾン一族のこの住居は、一族全員がこの中に住んでいる。男は内部の土間で家内工業の



図 13.42 南米アマゾンの裸族の先住民
【縄文 v s 白人】縄文文明こそ今の地球の文明の前の
文明だった！？ いずれすぐに証明されるだろう！？
<https://quasimoto3.exblog.jp/240499771/>

ように仕事する。女は外や内部の台所で火をおこして料理するのだ。そればかりか、同じような家に住む南米の先住民は、みな手先が器用だ。女子供は料理し、男子供は武器を作る。

13.12.9 日本の昔の田舎の農家の住居

これは日本の昔の田舎の農家で行われたことに非常に似ている。実際、新潟の古い伝統的な藁葺き屋根の家と非常によく似ているのだ。それにしても、新潟の昔の家屋とアマゾンの先住民の家はよく似ている。なぜか懐かしさを覚えるだろう。要するに、北中南米の先住民は日本でいう縄文人の末裔だった。つまり、縄文人というのは、「藁葺き屋根の家にすむ倭人」というわけだ。



図 13.43 南米アマゾンの裸族の先住民の少女
【縄文 v s 白人】縄文文明こそ今の地球の文明の前の
文明だった！？ いずれすぐに証明されるだろう！？
<https://quasimoto3.exblog.jp/240499771/>

13.12.10 竪穴式住居から高床式住居へ

縄文人は「竪穴式住居」に住んだ。その後、渡来人が来た。彼らは同じ血筋の縄文人だったけれども、海外の状況、特にユーラシア大陸の汚い世界を生き抜いた。だから、猛毒の虫や鼠などの動物から食料や身を守らなければならなかった。だから、高床式倉庫に食料を保管した。また高床式住居に住むようになっていったのだ。

その高床式に縄文伝統の藁葺き屋根をつけた。あるいは、藁葺き屋根の竪穴式住居に高床をつけた。これが日本の昔の伝統家屋になっていったのだ。結局、縄文人の藁葺き屋根に、南アジアの高床式で床と柱を建て、その上に藁葺き屋根を乗せたものが、白川郷の屋敷なのである。



図 13.44 新潟の古い伝統的な藁葺き屋根の家
【縄文 v s 白人】縄文文明こそ今の地球の文明の前の
文明だった！？ いずれすぐに証明されるだろう！？
<https://quasimoto3.exblog.jp/240499771/>

したがって、弥生時代に渡来した民族は、中国人や朝鮮人という意味ではなかったのだ。彼らは同じ縄文人の血筋であった。彼らは高床式の技術や農耕の水耕栽培の技術を持っていた。これが本当の弥生人だったのだ。

中国人は昔から土間住み、ワラの布団のベッドに寝た。西洋人と同じスタイルの生活だったのだ。これが現代も残された中国人の家だ。だから、縄文人とは生活が違う。縄文人は直接土間や床の上に寝るのだ。

つまり、我が国の昔の家というものは、柱と床を持ち込んだいわゆる弥生人の家と、縄文人の藁葺き屋根の竪穴式住居をドッキン

グさせたものと考えるべきだということになる。すなわち、昔の家そのものが、我が国の民族の成り立ちを証明している。どちらにせよ、日本人は自然のものを見事な手さばきで加工し、自然の恵みとともに共生してきた人種なのである。ヨーロッパの石屋の文化とはちょっと違うのだ。

13.12.11 縄文人は入れ墨の文化

さらに、南米の先住民からわかることがある。彼らは入れ墨をしているのだ。顔や体に入れ墨(タトゥ)をする。実は、このタトゥをするのが縄文人と共通の文化伝統だったのだ*¹⁰⁵。

なぜ縄文人は身体に入れ墨をしたのだろうか？

これは、1つは民族内の位や役割を示す飾りを意味した。言い換えれば、いまでいう「ジェンダー」を表した。米海軍の将校が胸に勲章をつけて自分の地位を示すのと同じことだ。

もう1つは、それが虫除けや動物避けになったのだ。当時は、ジャングルや陸地で猛獣や毒蛇や毒虫などさまざまなものがいた。むろん、今もいる。だから、今の蚊取り線香や虫よけの代わりが欲しかった。彼らは当時のさまざまな植物からそういうものを見つけたのだ。そういうものを身体に塗った。あるいは、すぐ抜けるとまづいものは入れ墨にした。虫除けや動物避けの威嚇のための印としての入れ墨は、化粧の一種と考えられるのだ。

*¹⁰⁵ 「縄文時代にタトゥーはあったのか①」【武田鉄矢】今朝の三枚おろし；
<https://www.youtube.com/watch?v=xzirFzIZczc>.

13.12.12 東南アジアのタナカサンの文化

事実、インドネシアには、縄文人や大和民族と同じハプロタイプの DNA を持つ民族がいる。彼らは顔に入れ墨をする。それは、「タナカサン (田中さん)」と呼ばれる。これは東南アジアやミャン



図 13.45 ミャンマーのタナカサン

<https://newsphere.jp/signpost/20181014-1/>

【インドネシアの伝説】「東から黄色い人がやってきて白人から救ってくれる」→昔は侍が葡西をやっつけ、現代では日本兵が英蘭をやっつけた！ そういう運命なんだな！

<https://quasimoto3.exblog.jp/240532638/>

マーの人のする伝統的な虫よけの白粉なのだ。だから、化粧のようだが、虫よけでもある。民族の知恵なのだ。縄文人はこういうもの

をしていたのだ。

おそらく、超古代の天皇がその石を扱う文明を持ち込んだのではなかろうか？

縄文人は、だいたい、男女ともに、小柄な東洋人系の裸族で、体や顔に入れ墨をし、非常に手先が器用で、働き者であり、家内工業的な生活をする人種だったのだ。

南米アマゾンの先住民はその縄文人時代の生活の痕跡をいまでも残している。こういう先住民に対して、白人種はいまもストーカー的にいつもちょっかい出し、悪さしているのだ。戦国時代に来たザビエル時代の南欧人は、日本人に対してまったく同じことを行った。その後のオランダ人やイギリス人もまた、日本人に対してまったく同じことを行った。

そしていまでも彼らは我が国に対して行っている。それが、白人種が英語教師の名目で我が国に渡ってくるというシステムだ。大半の外人教師は日本人の妻をもらえば帰化できる。それが彼らの本当の目的だ。欧米政府が日本政府に圧力をかけてそうさせているのだ。だから、そこら中の白人種や黒人種のハーフの子供だらけになっている。彼らの目的は日本人に自分たちの子孫を残すことなのだ。要するに、すべての行動は遺伝子で決まっているのである。

13.13 【偽アイヌ問題】 アイヌは先住民族ではない

アイヌ人は日本の先住民族だったのだろうか？

事実は違う。結論から言えば、アイヌ民族は先住民族ではない。



図 13.46 アイヌ民族

<https://newsphere.jp/signpost/20181014-1/>

カムイと人間は平等。アイヌ民族の素晴らしい世界観「カムイ」ってどんな意味？

<https://mag.japaaan.com/archives/98749>

長い縄文人の歴史の中で、彼らは3000年ほど前から2000年ほど前に、トリカブトの毒矢を武器に侵略してきた異民族だったのだ。つまりアイヌ民族は侵略者だったのだ。おそらく、後に他所から来た彼ら北方アジア人が、当時の縄文人の宗教観、文字、分化伝統を乗っ取ったのだ。

要するに、明治時代に米人のモースが彼の無知から命名した「縄文人」こそ、日本の先住民、それどころか、全世界の先住民だった。つまり、後に、倭人とか、倭寇とか、大和民族とか、日本人と呼ばれるようになったアジア系の民族こそ、全世界の先住民族であったのだ。それが「クル族」「カラ族」「コラ族」などの響きの名を持つ超古代民族だったのだ。

アイヌや他のアジア人は、南方系北方系を含めて後で生まれた人

種にすぎない。それゆえ、アイヌ人は、その北方系アジア人の一派であったツングース族やエベンキ族の一種のオホーツク人が、北海道の濃い顔の縄文人と混血してできたものだったというわけなのだ。

実際、20万年前～10万年前の全世界の古い化石人類の骨格に行くほど縄文人に似ているのだ。そして縄文文明はその10万年前から1万5000年前までほとんど無傷で残っている。

そして2万5千年前に初めて西洋風の金髪碧眼白人種の化石人類が生まれた。現存する化石では16000年前のアフントヴァゴーラ遺跡の人骨だ。これがいわゆるコーカソイドのルーツと考えられた人種である。これが、いわゆるクロマニヨン渓谷で発見されたことになったクロマニヨン人だ。しかし本当にそれがとクロマニヨン人と同じか、そうではないのかよくわからないところがある。

ところが、1万5000年前～1万2000年前に地球の大規模災害が起こった。ノアの大洪水のようなことが起こり、一度地球人類が滅びかけるのだ。そして、生き残った人類の様々の種が再配置して再文明化した。人類は再出発したのだ。その行きつく先が今日の姿になったわけだ。

縄文人的なアジア系の人類は、最後の大艱難の前にかかなりの文明を築いていた。一説では、その洪水はムー大陸の消滅とか、アトランティス大陸の消滅とか言われている。しかし、比較的近くに位置した西洋文明では、北中南米大陸の存在をギリシャ・ローマの時代はおろか中世の大航海時代までほとんど知らなかった。

このことから、彼ら内陸部で発生した白人は北中南米大陸をアトランティスと錯覚した。あるいは、彼ら白人は大西洋と太平洋の区別も何も知らなかった。だから、我々が言うところのムー大陸のこ

とをアトランティス大陸と誤解していたと考えることができる。

いずれにせよ、日本人が言うところの縄文時代には、南米の端まで同じような人種で文化風習を持つアジア系の人類が広がっていた。それが後々それぞれの場所で、インカ文明やアンデス文明などを発展させたのだ。

インド文明の場合もそうだ。インドでは、バラモン教をもたらしたアーリア人の侵入前の古い遺跡ほど、仏像の顔は日本人に似た東洋系である。アフガンなどの古代の巨石や巨大石像は東洋人の目や顔をしている。さらには、古代エジプト文明のカルナック神殿の巨石像は、ほとんど日本人の顔、すなわち縄文人の顔そのものなのだ。

このように、世界の古代文明を探検に行ったデニケンの親友であった高橋良典は、そういう古代文明を作り、広く世界中に広く分布したアジア系の人種を「カラ、カル、キリ、キル、キツ、クリ、クル、クレ、ケレ、ケル、コク、コラ、コリ、コル、コレ、コロ、。。。」などの音、音の響きを持つ名前の民族と考えた。つまり、Kr, Kl, Cr, Cl, Chr, Chl, ... のアルファベットの文字で始まるような名前である。実際、カルカッタ、キリギス、クレタ島、ケルト民族、契丹(キタン)、コリア、高句麗(コクリョ)、加羅(カラ)、。などの場所がある。そういう場所の先住民＝古代人ほど日本人に似ているのである。つまり、縄文人に似ている。

さらには、北中南米の先住民は、アンデスの先住民は「コラ族」だったのだ。ペルーのインカ帝国は日本人神話があった。事実DNAに共通のものが見つかった。だから彼らもまた縄文人に似ている。実際、そこには有名な「チチカカ湖」がある。むろん、父さん母さんの湖だ。つまり、先祖代々の湖のことだ。

一方、トルコ、唐(ト一)、。。。あるいは、ヒッタイト、ハタ、ある

いは、ブラ、ブル、。。などの音の響きのする名前を持つ民族は、古代アーリア系の金髪碧眼種がルーツの民族である。その後、それぞれの場所で混血が重なってアジア人的になった。この系統は、コーカソイド系のアーリア人が4000年前～3000年前頃にウクライナ地方から四方八方へ侵略し始めた結果生じたと考えられる。

インドには3000年前の金髪碧眼のアーリア人ブラフマンの侵入である。アジアでは西アジアにヒッタイトルーツのトルコ系が侵入し、殷、秦、唐となった流れである。事実、モンゴルには初代王は「青い目」をしていた伝説が残る。青い狼だ。彼らは、いわゆる「帝国主義」に従った王政を始めた人種と考えても良い。

こうして、3000年前に古代中国の周の時代に北方に逃れた民族がさらに東へ追われてオホーツク人になったのだ。それから、最終的には樺太に逃げ、現地の縄文人と混じった。その北方アジア人の民族が、いわゆるアイヌ人の始まりであったのだ。だから、アイヌ人は決して日本の先住民族ではない。アイヌ人は別の人種なのだ。彼らは日本人が使わなかった毒矢を用いた。その毒はトリカブトの毒だった。これで日本に住んでいた縄文人の侵略に成功したのだ。10万年以上前から日本に住んでいた倭人は逃げ延びた。つまり、こんな感じであった*106*107。

*106 【偽アイヌ問題】 アイヌは先住民族ではない。長い縄文人の歴史の中でトリカブトの毒矢を武器に侵略してきた異民族だったのだ。つまり侵略者だった！？；<https://quasimoto3.exblog.jp/240583808/>.

*107 特番『アイヌ人など存在しない、日本民族としての政治・教育～アイヌ先住民族説、弥生人渡来説のウソ』ゲスト：作家 宇山卓栄氏；https://www.youtube.com/watch?v=__cecesbV_c.

13.13.1 遺伝子ネットワーク解析によくある間違い

ところで、この手の研究を北海道大学の研究者が行っている。彼らは解釈において普通のこれまでの人類進化論を信じ切っている。だから、本州日本人と韓国人が隣接する場所にランクされる。

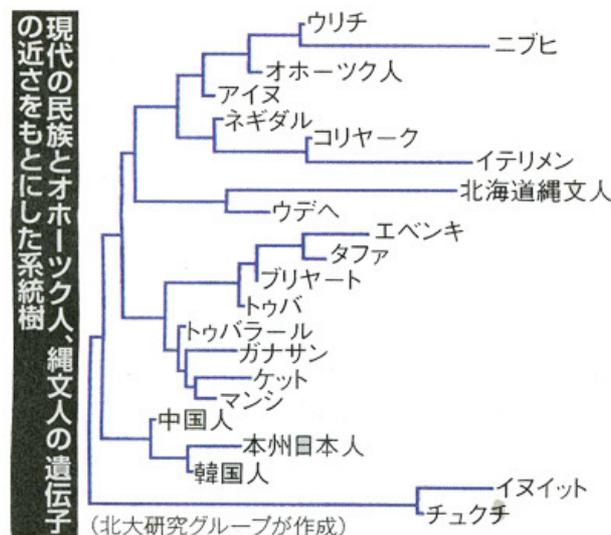


図 13.47 アイヌの分岐図

<https://newsphere.jp/signpost/20181014-1/>

【偽アイヌ問題】アイヌは先住民族ではない。長い縄文人の歴史の中でトリカブトの毒矢を武器に侵略してきた異民族だったのだ。つまり侵略者だった！？

<https://quasimoto3.exblog.jp/240583808/>

なぜそういう事が起こるのだろうか？

実は、DNA 解析というのは遺伝子のネットワーク解析のことなのだ。ネットワークというのは、長さや位置や図形の意味は重要ではない。繋がり型のトポロジー (位相幾何学)*¹⁰⁸だけが問題にな

*¹⁰⁸ <https://ja.wikipedia.org/wiki/位相幾何学>

る*¹⁰⁹。だから、どの遺伝子とどの遺伝子が近いか遠いかのトポロジーだけが作られる*¹¹⁰。

では、どうやってどれが古いかを決めるのだろうか？

実はここに考古学的事実や、それ元にした偏見、従来の既存の標準理論などの通説に影響されるのだ。なぜなら、研究者がどの仮説を念頭に置くかで、どれを一番先に持っていくかが決まるからだ。北海道学者は、通説に基づいた。これは、北方アジア人が北から日本へ流入し、縄文人になったという仮説だ。これが既成のシナリオだった。それゆえ、北海道大学の研究者は、一番古い座標にチュク、イヌイトをとった。逆に本州日本人を一番新しい方へ置いた。こうして通説の憶説を基に出来上がったのが、北海道大学の研究者が作った系統図なのだ。

13.13.2 日本人のハプロタイプは極めて古い

しかし、これまでに見てきたように、Y 遺伝子ハプロタイプ研究では日本人の方が遥かに先に来るのである。なぜなら、そうしないと北大の研究者の書いた系図のように、北海道の縄文人と本州の日本人が別の種族のように書かれることになってしまうからだ。実際には縄文人には非常にバラエティーがあり、顔の濃いもの（彫りの深い）もいれば、顔の薄いもの（平たい顔族）もいる。逆に言えば、縄文人にはさまざまなバラエティーがあったのだ。だからこそ、世

*¹⁰⁹ トポロジーは、何らかの形（かたち、あるいは「空間」）を連続変形（伸ばしたり曲げたりすることはするが切ったり貼ったりはしないこと）しても保たれる性質（位相的性質または位相不変量）に焦点を当てたものである

*¹¹⁰ 井口和基著「フラワーとカウフマンの世界」(太陽書房, 2004年).

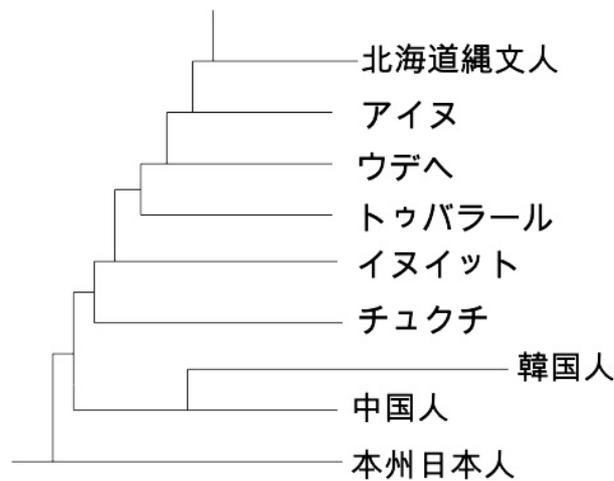


図 13.48 本当のアイヌの分岐図
 実は DNA 解析というのは遺伝子のネットワーク解析のことなのだ。ネットワークというのは長さや位置や図形の意味は重要ではない。繋がり型のトポロジー (位相幾何学) だけが問題になる。だから、どの遺伝子とどの遺伝子が近いか遠いかのトポロジーだけが作られる。日本人を Y 遺伝子のハプロタイプ C や D の最古の民族だとすれば、まったく異なる分岐図になる。

界中に散っていた結果、その後それぞれの地で固有の顔として分離したとも言えるのだ。日本にはその初期の時代からずっと生き延びてきた世界最古の国だった。そのため、そういった様々の種が減ぶことなく現存された。その結果、いまなお濃い顔も薄い顔も存在することになったのだ。

昭和の戦後初期には、DNA 研究ができなかった。だから、そういう DNA の事実が知られていなかったのだ。戦後すぐの時代は、中韓の独立機運を促すための政治判断や東京裁判や GHQ の自虐史観育成計画などの時代背景にあった。それゆえ、「中国 5000 年の歴史」とか、「韓国 4000 年の歴史」とか、「縄文人と弥生人」

とか、「渡来人」とか、そういうふうな政治的プロパガンダを込めた人類史が捏造されたのだ。そして、この延長線上にいまの「アイヌ人問題」があるというわけだ。そして、これに北朝鮮共産党や中国共産党が裏で糸を引くのだ。

ところで、日本人＝縄文人とアイヌ人＝オホーツク人とを決定的に区別する方法が知られていた。実は、弓矢にトリカブトの毒をもるのはアイヌ人であり、弓矢に毒をつけないのが縄文人だったというのだ。縄文人の遺跡からは一切毒が見つからない。しかし、アイヌ人の遺跡からはトリカブトの毒が見つかったからなのだ。この猛毒のトリカブトの毒矢によって、樺太から北海道、そして東北へと勢力を持った。それがアイヌ人であった。だから、彼らは日本人の先住民ではなかったのだ。

そういうわけで、従来の価値観は、縄文人＝顔が濃い＝アイヌ人というものだった。しかし、それはまったくの埒外のフェイクの間違った歴史学だったというわけだ。

13.14 人類と宇宙人の関係

13.14.1 隠された本当の人類史

実は、人類と宇宙人は関係がある。コズミック・ディスクロージャーの SSP のメンバーは、彼らが交流する宇宙人から地球の人類史を教えられた。同様に、ビリー・マイヤーは、タイムマシンにもなる UFO を乗りこなすプレアデス人のセムヤーゼから地球人類史を教えられた。これらの地球人類史は次のようなものだ。

実は日本人はアンドロメダ星雲からこの銀河のおおいぬ座のシリ

ウスAに来て、それからこの太陽系にやってきた*¹¹¹。それから、まずは最初にサナート・クマラが日本に降り立って超超古代縄文文明を作り、それを全世界へ伝播させた。それが、超古代エジプト文明の基礎をつくった。

その後、25000年ほど前にどういうわけか白人の祖であるアーリア人が他の星から後からやってきた。これが、シベリアの山岳地帯「アフォントヴァゴーラ遺跡」の16000年前の金髪の個体になった。その後、彼らは古代アッシリア帝国を生み出したのだ。それがバビロニア帝国となり、それまでの超古代文明の乗っ取りを行った。

それ以前、日本人の祖(=縄文人)、天孫降臨のクル族は世界に散らばってその地を平和的に統治していた。そこでクル族はアーリア人の侵入侵略を受けた。そこで、クル族は徐々に東進した。日本人の祖クル族は、東へエジプト、メソポタミア、インド、中国、インドネシア、朝鮮、さらには南米、中米、北米へと渡った。そして、最後に日本にたどり着き、九州の諫早、淡路島を經由して、徳島に渡った。それから畿内へと東進して古代大和朝廷を築いた。そうして、世界の最初から存在した古代東日本王国(埼玉)と合流し、日本列島を治めた。

その一方で、残された文明はアーリア人との混血化し破壊改変されてそれぞれのいわゆる4大文明として受け継がれた。アーリア人化したエジプト人がヒエログリフのエジプト人となった。アーリア人化した古代イスラエル人がユダヤ人となった。アーリア人化した

*¹¹¹ それより前についてはビリー・マイヤーのプレアデス人と遭遇の本に詳しい。しかし、その歴史は非常に長い。たとえば、<https://project-gaia.net/messages/PG/message1108.shtml>。

インド人がカーストのインド人となった。アーリア人化した中国アジア人が漢人^{あやひと}となった。

古代アッシリアに端を発するアーリア人は、白い肌で背丈が大きく、目鼻立ちがはっきりした金髪碧眼であった。しかし、彼らの性質は非常に残忍だった。彼らはニビルの神々に反逆したイギギの性質を持っていた。イギギは地球人の女を略奪した。彼らは地球人の女に酒池肉林の乱交を行って子を作った。これは古代史を見れば明らかだ。彼らは暴力、虐殺、レイプ、殺人、なりすまし、歴史改変、階級支配などなどが大得意の人種だった。そのために、それと混血化した民族にもその性質が受けつがれた。

惑星地球とは、原始日本的、縄文文明的惑星地球から、アーリア人が地球人になりすましてできた白人文明化した惑星地球となったのだ。

つまり、日本人は先にいたのであって、白人が先にいたのではなかった。だから、本来は

白人はどの惑星から来たのか？ と問うべきことなのである。もちろん、遊星ニビル（シリウスA時代の犯罪者を星流しにした惑星）から来たのだった。このような人類史があるのだ。

13.14.2 コズミックディスクロージャーとの一致

この隠された歴史をコズミックディスクロージャーのデービッド・ウィルコックの番組が保証したのだ。

南極大陸の地下には、一番古い地層に、超古代エジプト人に似た巨人の古代ビルダー主族がいたのだ。彼らは巨大な母船に乗ってきた。これが天浮き船のことだ。日本の伝説の天の浮船は南極の地下

と月の裏側で発見されたのだ。

その上が、別の人種だった。これが、シリウス B の衛星である惑星から来た黒人の祖先だった。

そして一番上の最近に地球へ降りた宇宙人がレプティリアンだった。これが地球人とのハイブリッドを生み出した。そうやって誕生した遺伝子ドライブを持つ人種が、西洋の白人なのだ。

この一見すると、突拍子もないようなオカルトのようなストーリーと、これまでの既存の研究結果が一致するのだ。つまり、それが地球人類の Y 遺伝子のハプロタイプ研究や考古学的研究や実際の言語や文化伝統や宗教などを研究したものと見事に一致するわけだ。

これは驚くべきことではなかろうか？

いうまでもなく、こういう話はオカルトにされるだろう。だれも SF 以上の価値を見出さないかもしれない。しかしながら、真実とはそういうふうに多角的長期的な多次元的な見方を行わない限り得られないのだ。

だから、この結論の真偽は読者のみなさんの想像力に委ねられる。現在私としてできることはここまでだ。間違いや誤解も多く入っているに違いない。しかし、それはご容赦願いたい。御自身の研究によって修正してもらいたいのだ。みなさんのご発展を心待ちしたい。